

# 参考資料

- 
1. 沿線まちづくり構想策定までの経緯
  2. 皆様からのご意見
  3. 用語集

## 参考資料

### 1. 沿線まちづくり構想策定までの経緯

#### (1) 江東区都市計画マスタープラン2022推進会議

##### ① 会議日程

	年月日	議題
第1回	令和4年 6月 7日	・「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」について
第2回	令和4年 7月27日	・「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」について
第3回	令和4年11月21日	・「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」(素案)について
第4回	令和5年 2月17日	・「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」(案)について

##### ② 名簿

	所属	氏名
外部有識者	東京都立大学 都市環境学部教授	市古 太郎
	東洋大学 人間科学総合研究所 客員研究員	川内 美彦
	芝浦工業大学 建築学部教授	志村 秀明◎
	千葉大学大学院 工学研究院教授	村木 美貴
	早稲田大学 理工学術院教授	森本 章倫
	千葉大学大学院 園芸学研究科教授	柳井 重人

◎委員長

#### (2) 江東区地下鉄8号線沿線まちづくり検討部会(庁内組織)

##### ① 会議日程

	年月日	議題
第1回	令和4年 5月24日	・江東区地下鉄8号線沿線まちづくり検討部会設置要領の改正について ・「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」の策定方針について ・構想策定に係るワークショップの実施について ・構想策定に係るアンケート調査の実施について ・機運醸成イベントについて
第2回	令和4年 7月21日 (書面形式)	・「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」策定に向けた現状の報告と 予定について ・「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」策定フローについて
第3回	令和4年10月19日	・「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」(素案)たたきについて
第4回	令和4年11月15日	・「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」(素案)について
第5回	令和5年 2月16日	・「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」(案)について

##### ② 名簿

部会長	地下鉄8号線事業推進室長
副部会長	都市整備部長 土木部長
部会員	政策経営部長 総務部長 地域振興部長 企画課長 計画推進担当課長 港湾臨海部対策担当課長 防災課長 地域振興課長 文化観光課長 都市計画課長 まちづくり推進課長 住宅課長 建築課長 建築調整課長 地域整備課長 地下鉄8号線事業推進課長 沿線まちづくり担当課長 管理課長 道路課長 河川公園課長 施設保全課長 交通対策課長

#### (3) 江東区議会

会議名	年月日	議題
地下鉄8号線延伸・ 交通対策推進特別委員会	令和4年 6月24日	・(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想策定について
地下鉄8号線延伸・ 交通対策推進特別委員会	令和4年 10月14日	・(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想策定について
地下鉄8号線延伸・ 交通対策推進特別委員会	令和4年 12月 7日	・「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」(素案)について
地下鉄8号線延伸・ 交通対策推進特別委員会	令和5年 3月10日	・江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想(案)について

## 2. 皆様からのご意見

### ご意見把握の実施概要

実施方法	実施概要
アンケート（紙面）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：令和4年 6月10日（金） ～令和4年 6月30日（木）</li> <li>・対象者：区内居住者7,000人（無作為）</li> </ul>
アンケート（Web）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：令和4年 6月21日（火） ～令和4年 7月11日（月）</li> <li>・対象者：区内外問わず誰でも回答可能</li> </ul>
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和4年 7月23日（土） 令和4年 8月27日（土） 令和4年 9月10日（土）</li> </ul>
小学校出前講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和4年 9月15日（木） 令和4年 9月16日（金） 令和4年 9月20日（火）</li> </ul>
機運醸成イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和4年10月29日（土） 令和4年11月 6日（日）</li> </ul>
説明会（オープンハウス型）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：令和4年12月21日（水） ～令和4年12月23日（金）</li> </ul>
説明会（従来型）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：令和5年 1月10日（火） ～令和5年 1月14日（土）</li> </ul>
パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：令和4年12月21日（水） ～令和5年 1月18日（水）</li> </ul>

## (1) アンケート

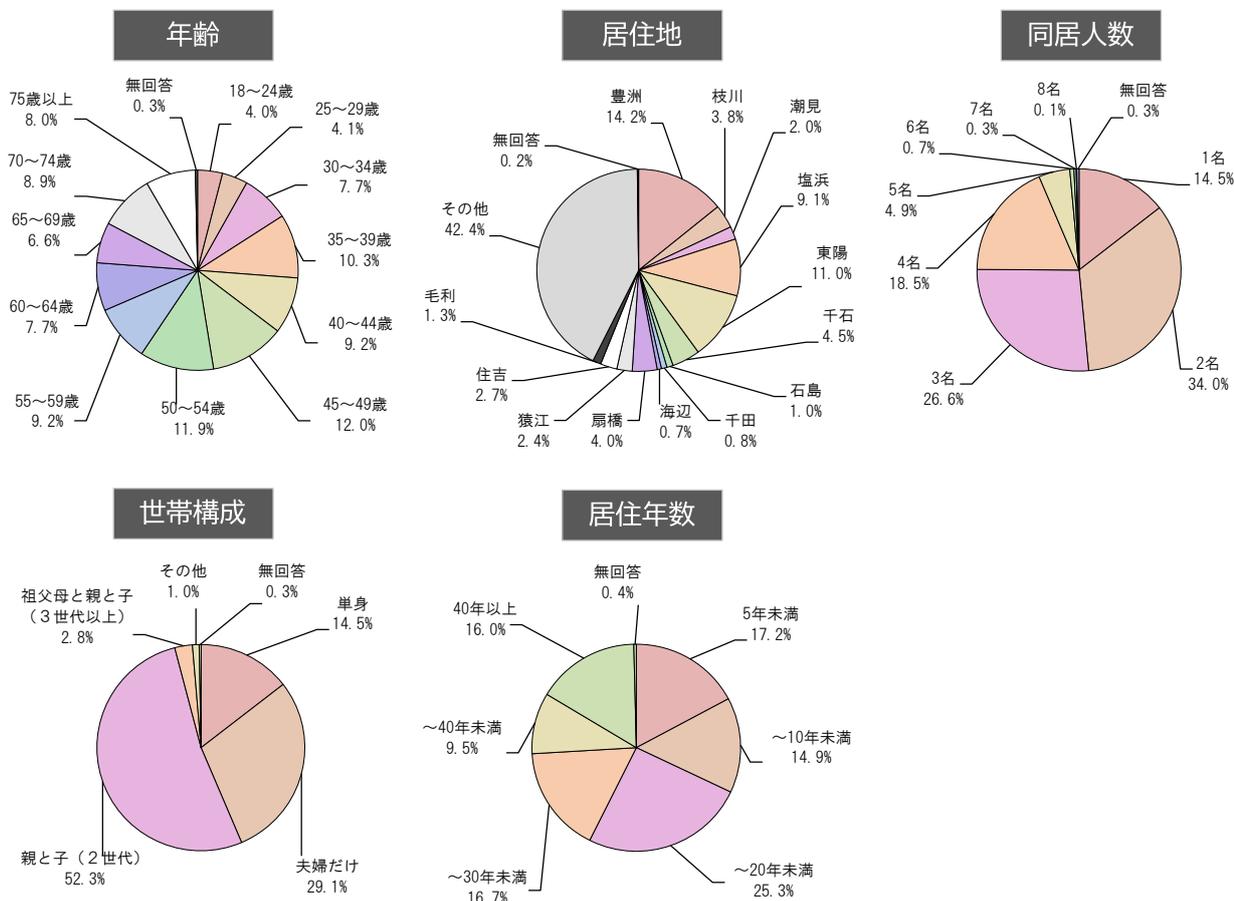
### ① 実施概要

調査内容の概要	回答者の属性、地下鉄8号線延伸前後の行動範囲、まちづくりに関する事項		
実施期間	令和4年6月10日(金)～令和4年6月30日(木) *実施期間を過ぎた令和4年7月30日(土)までに届いた回答にて集計		
実施方法	紙面	Web(江東区ホームページ)	
		江東区内	江東区外
調査地域	江東区全域	—	
調査対象	江東区にお住いの18歳以上の方7,000人 (沿線3,500人/沿線外3,500人)を無作為抽出	—	
調査方法	7,000人に郵送同封した返信用封筒による回収	江東区ホームページによるWeb回答	
回答件数(回収率)	1,770件(25.3%)	1,392件	63件

\*グラフの構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

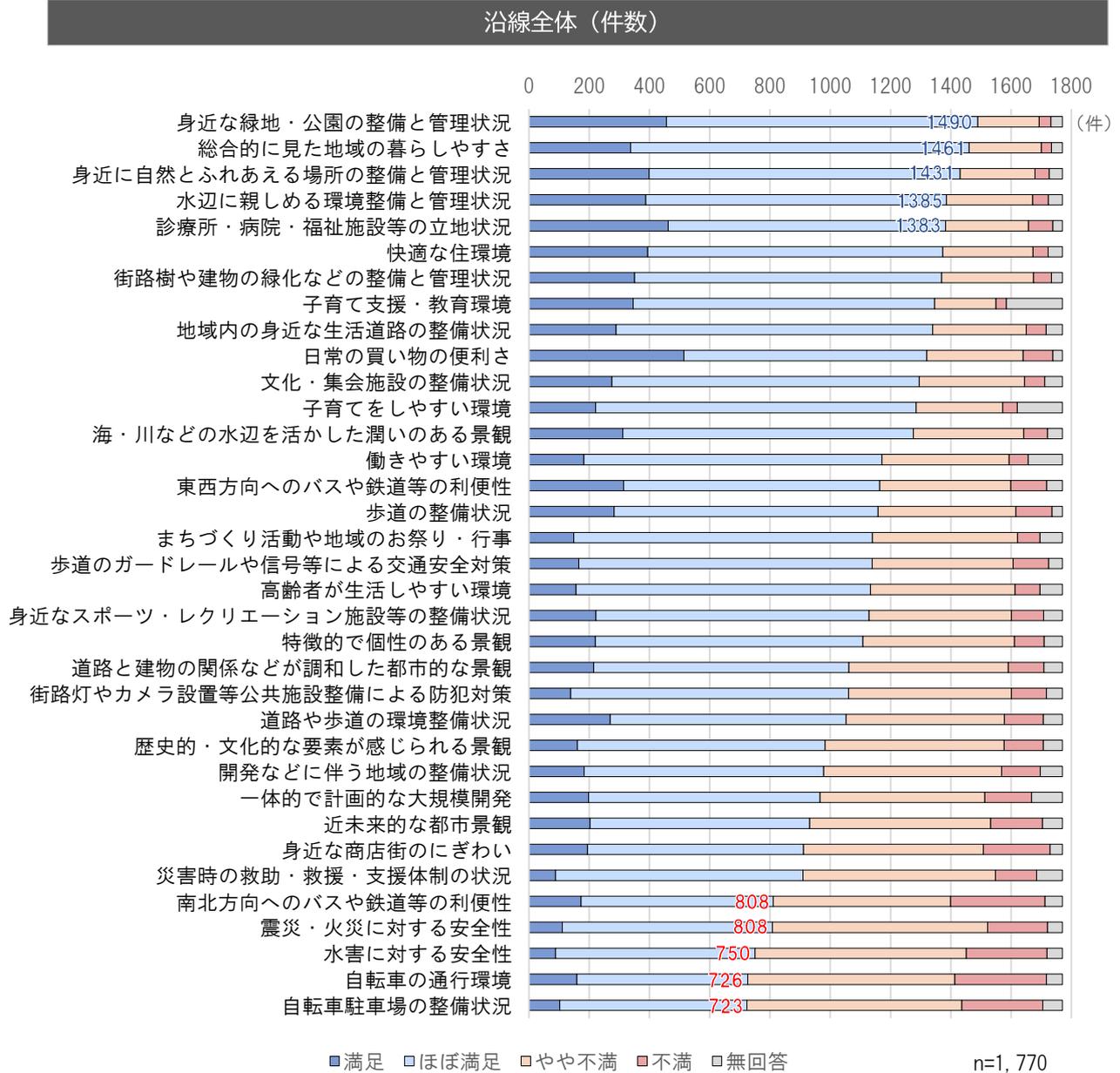
### ② 集計結果(紙面アンケート)

#### 1) 回答者の属性(単数回答) n=1,770



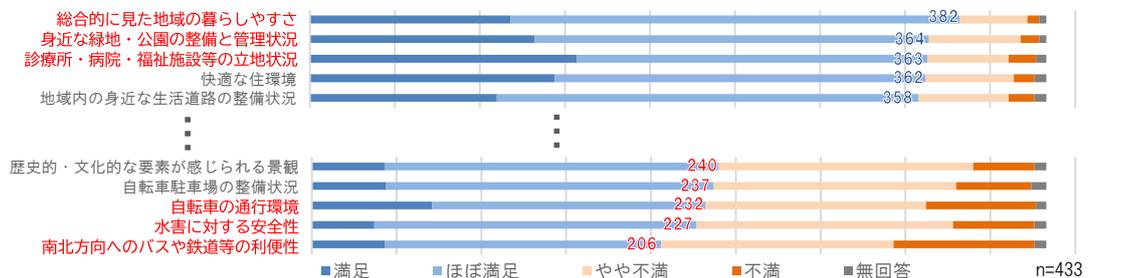
## 2) 地域満足度（単数回答）

- 総合的に地域に対する満足度はいずれの駅周辺でも高い傾向にある。
- 「南北方向へのバスや鉄道等の利便性」や「自転車の通行環境」、「自転車駐車場の整備状況」といった交通に関することや、「震災・火災に対する安全性」、「水害に対する安全性」への防災に対する満足度がいずれの駅周辺でも低い。

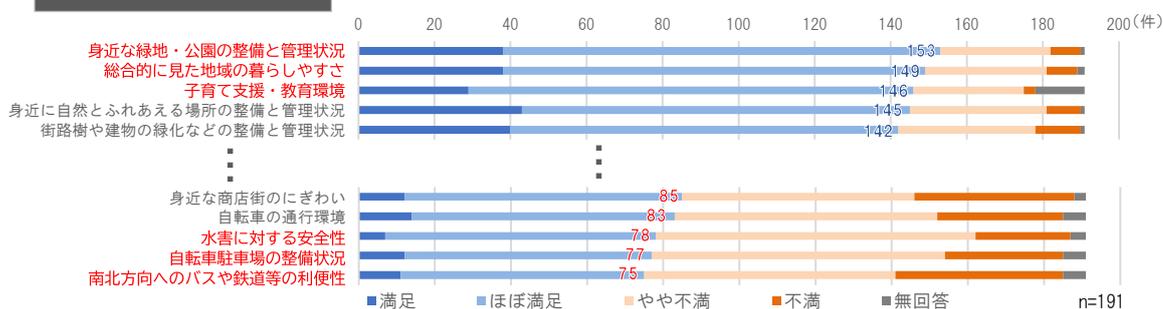


## 各駅周辺（件数）

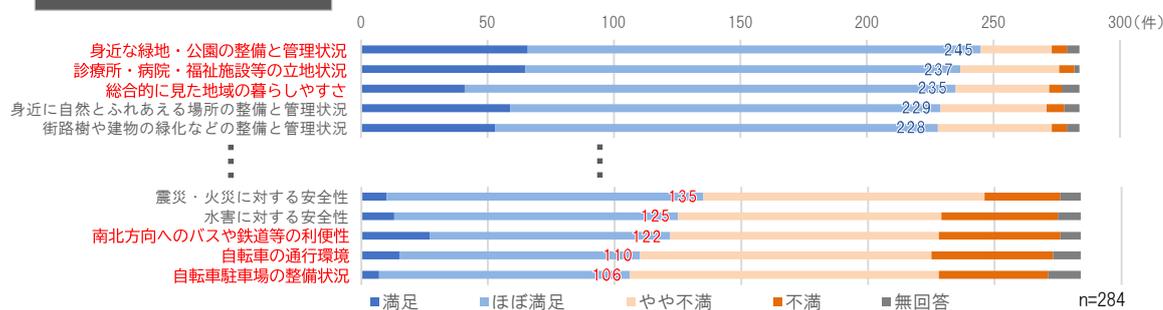
### 豊洲駅周辺



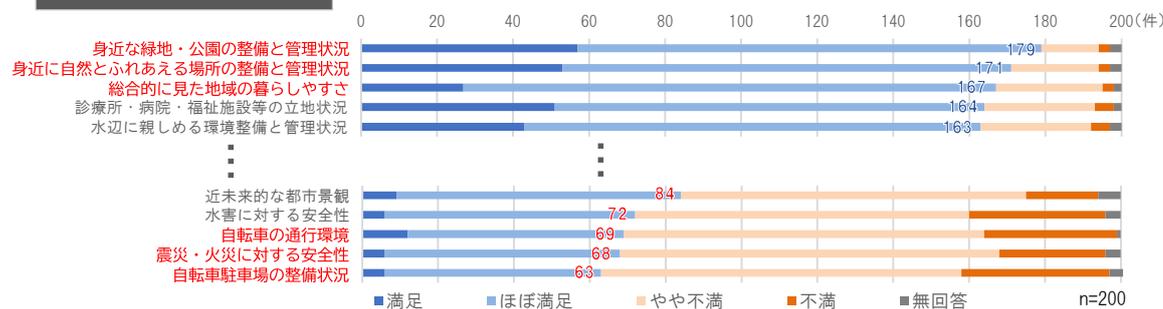
### (仮称) 枝川駅周辺



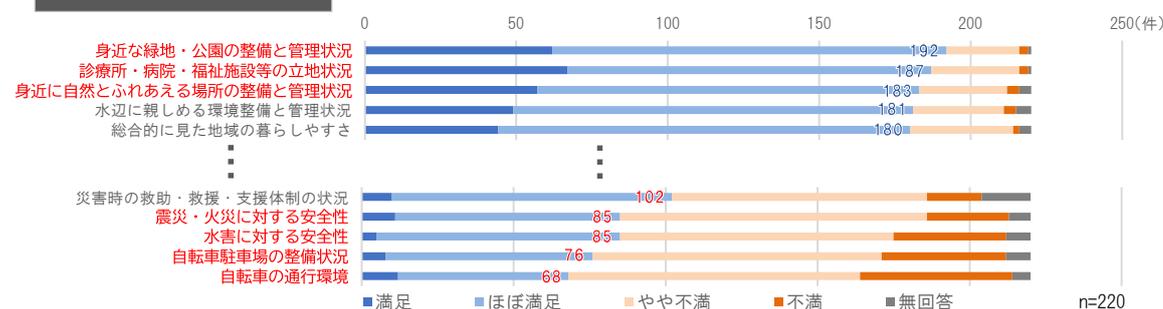
### 東陽町駅周辺



### (仮称) 千石駅周辺

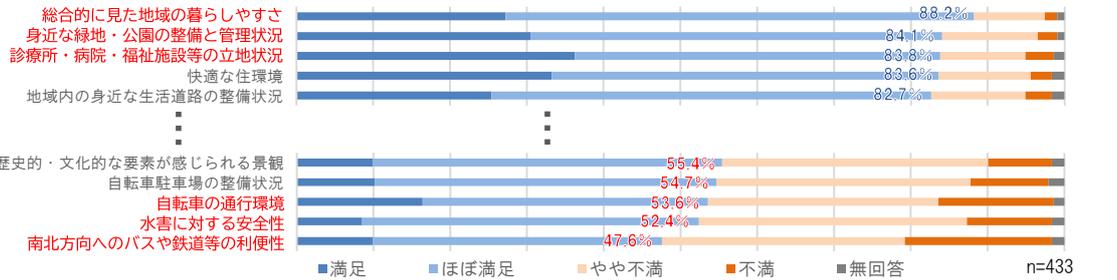


### 住吉駅周辺

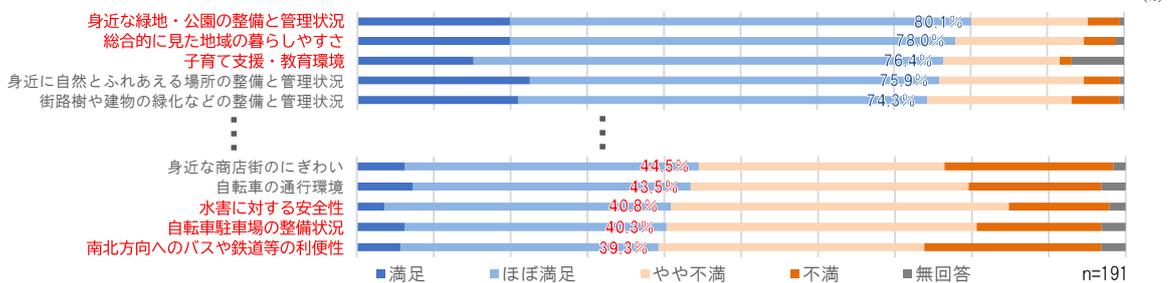


各駅周辺（割合）

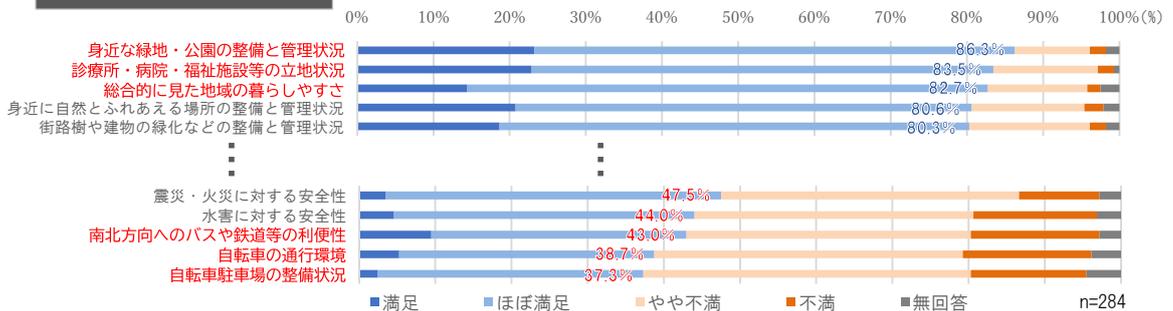
豊洲駅周辺



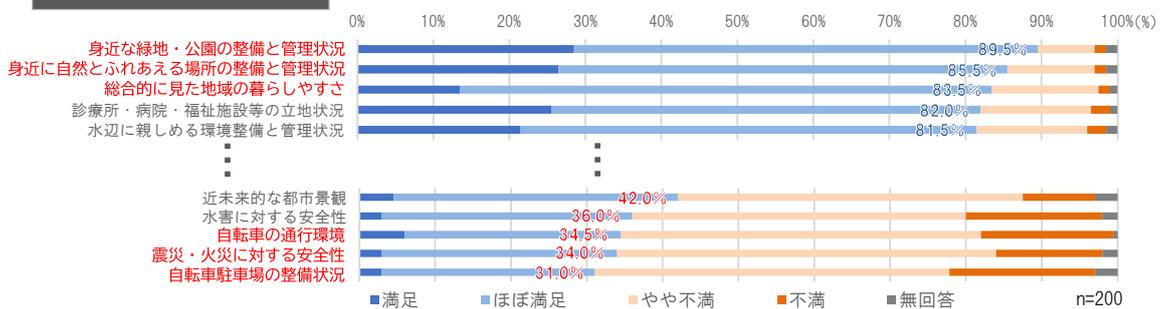
(仮称) 枝川駅周辺



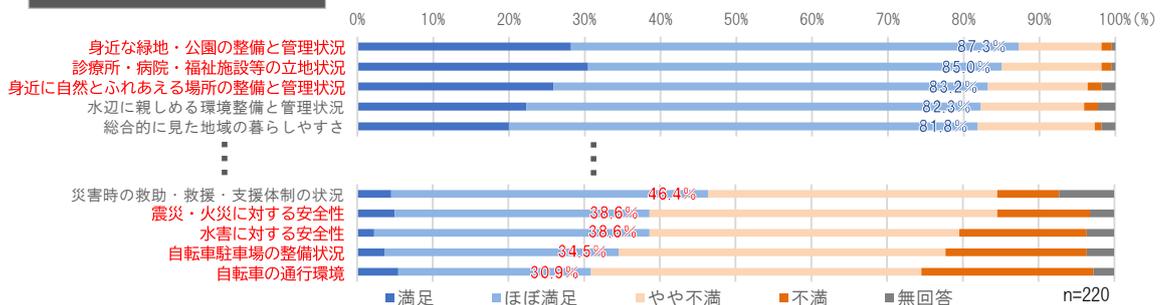
東陽町駅周辺



(仮称) 千石駅周辺



住吉駅周辺



\*上位・下位5位を抽出して記載

### 3) 沿線のまちづくりにおいて活かすべき魅力等と解決すべき課題等（自由回答）

- 「水辺」や「運河」、「公園」といった水辺と緑を魅力とする回答が多かった。
- 「道路整備」や「道幅が狭い」といった道路環境を課題とする回答が多かった。

活かすべき魅力等	
意見区分	件数
水辺	49
運河	26
公園	26
飲食店	25
下町	21
景観	19
利便性	18
商業施設	16
商店街	16
まちづくりに期待	15
緑	15
駅周辺の開発	14
歴史	14
散歩	13
魅力を感じない	12
バスに関して	12
地域の特徴	11
江戸文化と現代の融合	11
憩いの場	11
バリアフリー※化	10

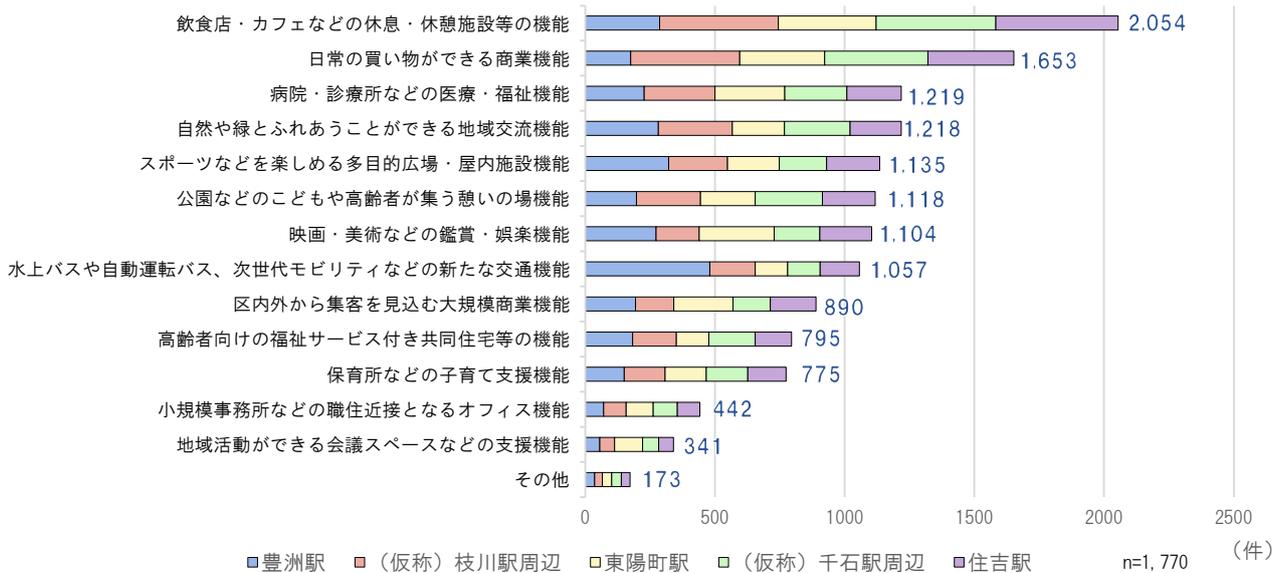
解決すべき課題等	
意見区分	件数
道路整備	41
駐輪場	38
道幅が狭い	32
混雑	31
バスに関して	29
自転車	27
エレベーター・エスカレーター	22
自転車レーン	22
商店街	21
魅力を感じない	20
飲食店	19
治安	17
災害（水害）	17
駅周辺の開発	16
高齢者	16
商業施設	15
スーパーマーケット	14
バリアフリー化	14
マンション	13
駅の出入口	13

\*上位の意見のみ記載

#### 4) 地域の拠点としてあるとよいと思う新たな機能（複数回答）

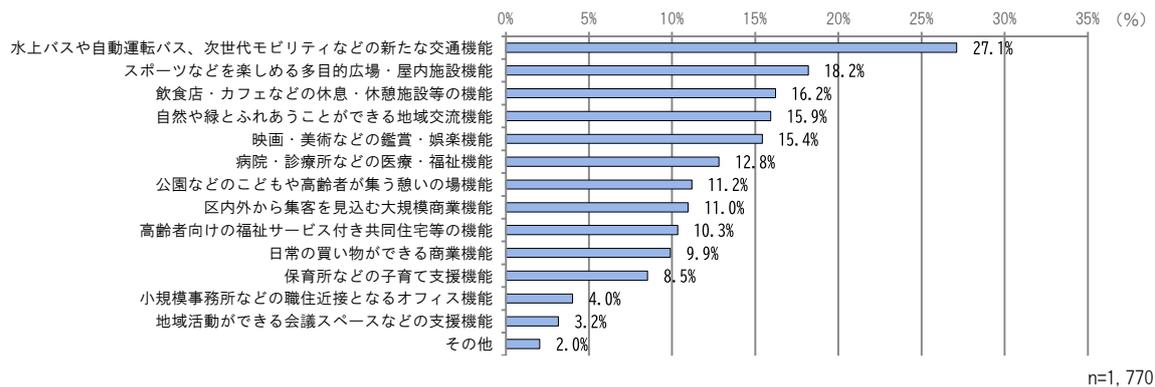
- 「飲食店やカフェ等の休息・休憩等の機能」、「日常の買い物ができる商業機能」を望む意見が、豊洲駅周辺を除く、4つの駅周辺で特に多くみられた。
- 豊洲駅周辺では、その他の駅周辺とは異なり「水上バスや自動運転バス、次世代モビリティなどの新たな交通機能」を望む意見が特に多くみられた。

沿線全体（件数）

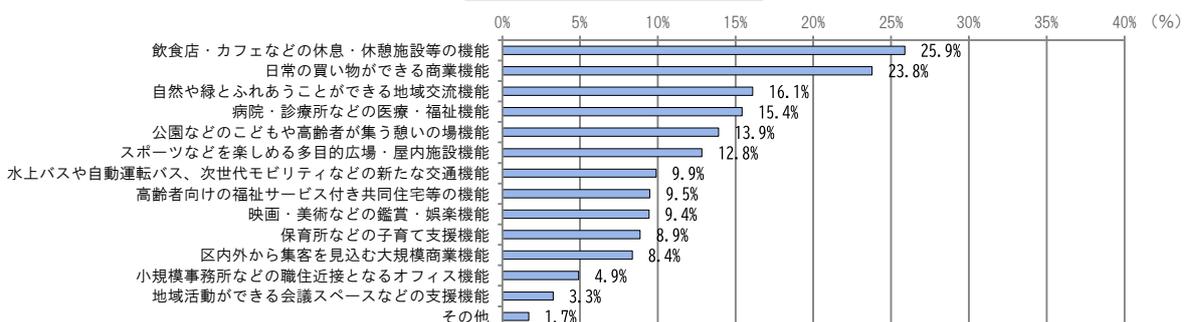


各駅周辺（割合）

豊洲駅周辺



(仮称) 枝川駅周辺



\* 無回答は省略して記載

n=1,770

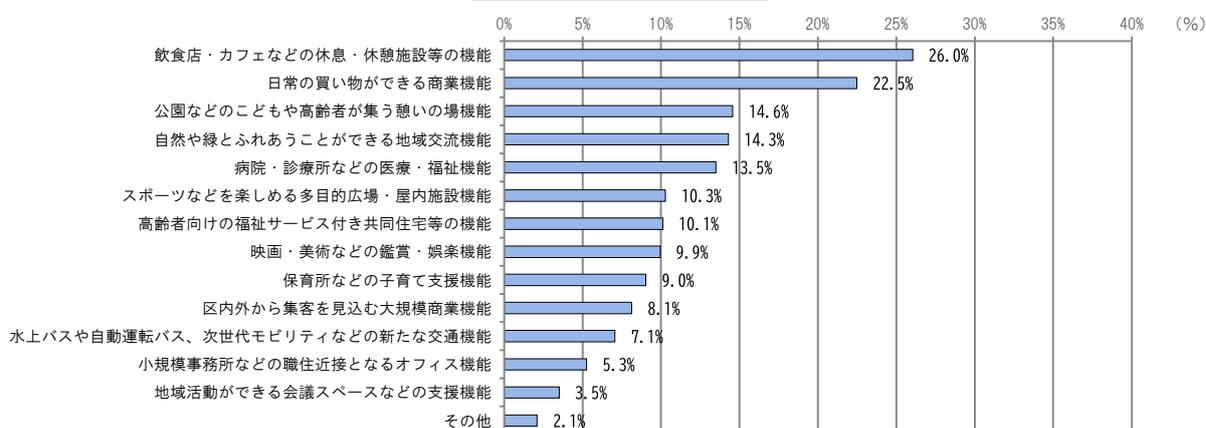
## 各駅周辺（割合）

### 東陽町駅周辺



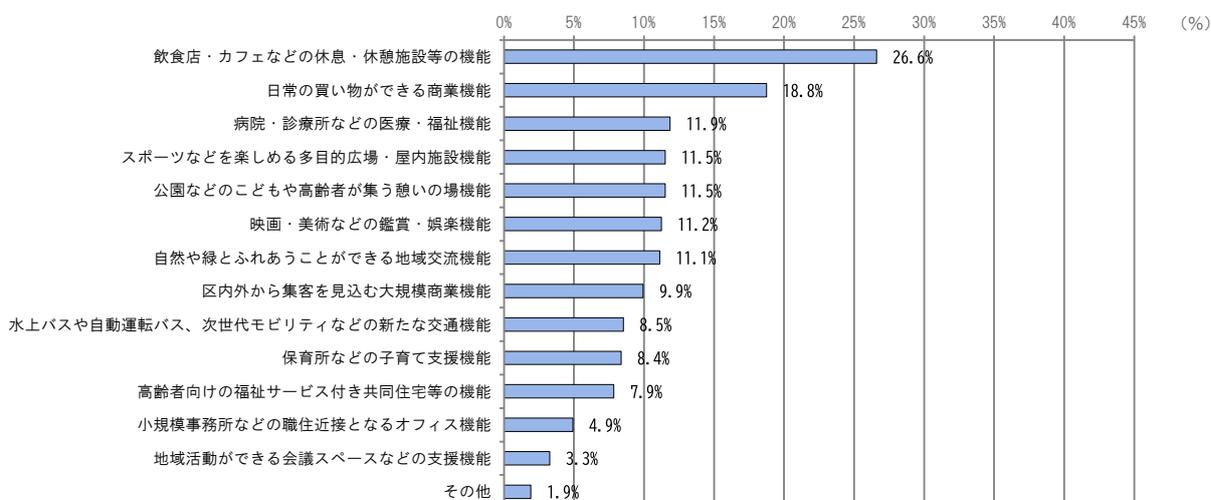
n=1,770

### (仮称) 千石駅周辺



n=1,770

### 住吉駅周辺



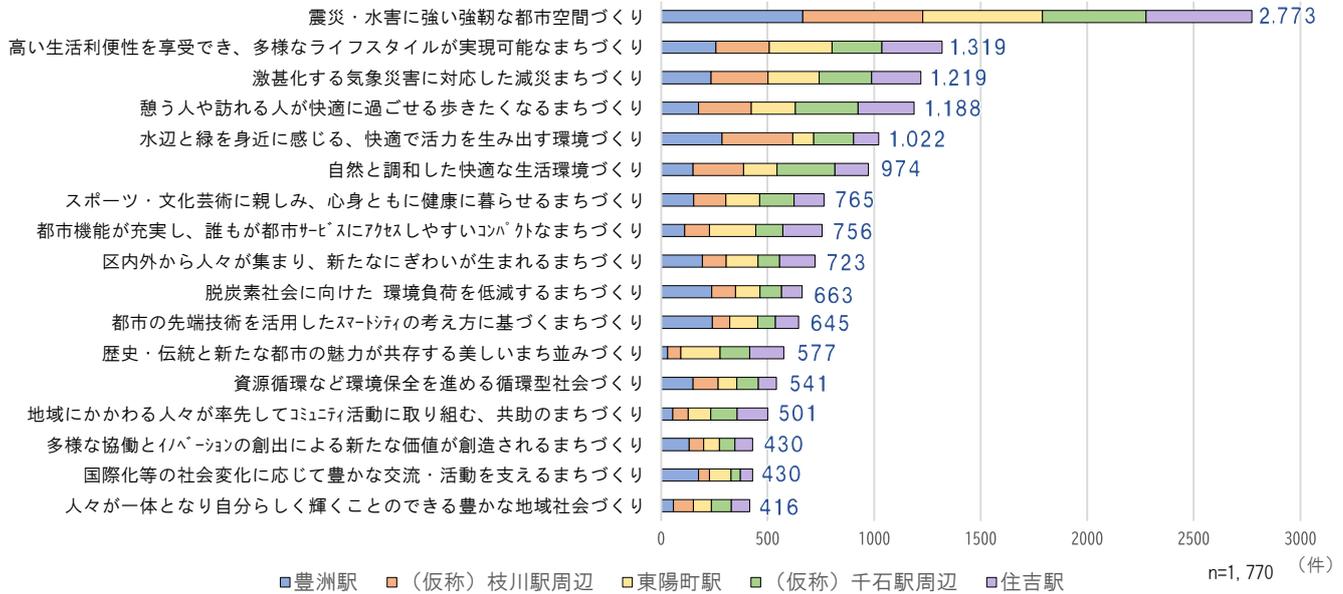
n=1,770

\*無回答は省略して記載

### 5) 地下鉄8号線の延伸に伴う駅周辺のまちづくりで特に重要と考える取組（複数回答）

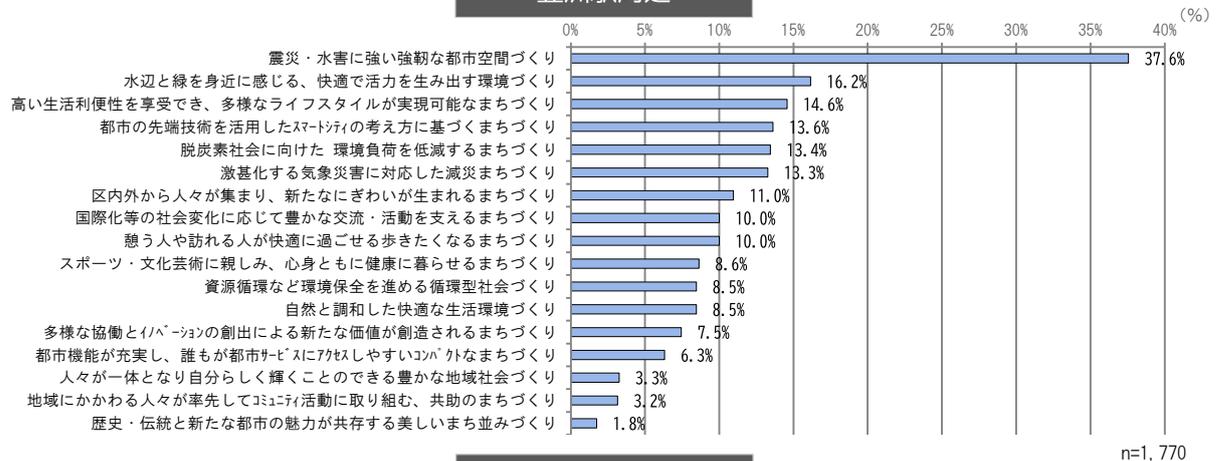
●「震災・水害に強い強靱な都市空間づくり」を望む意見が、すべての駅周辺で最も多くみられた。

沿線全体（件数）

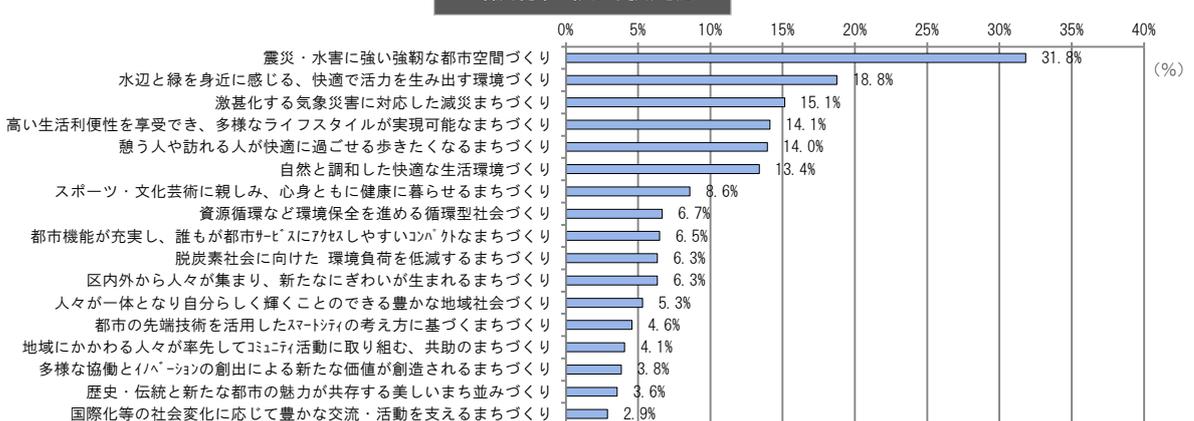


各駅周辺（割合）

豊洲駅周辺



(仮称)枝川駅周辺

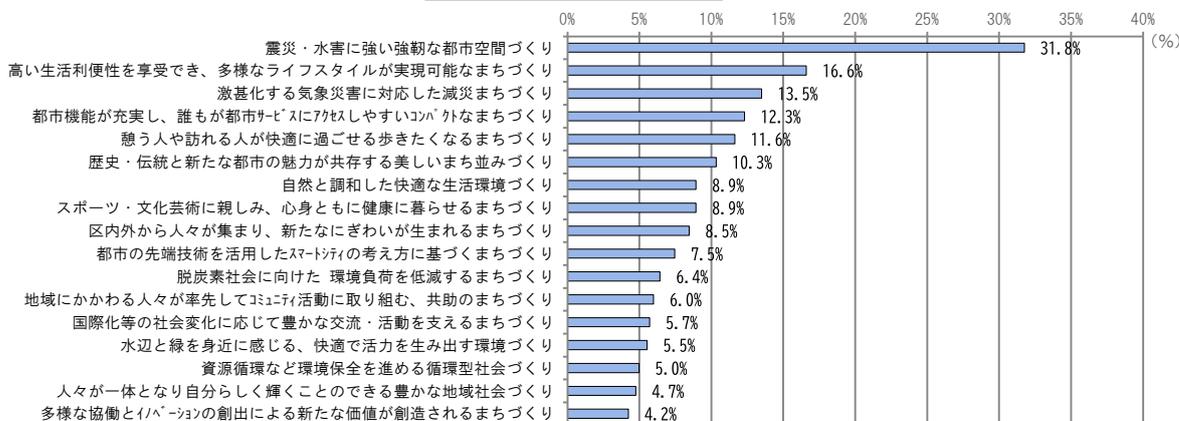


\*無回答は省略して記載

n=1,770

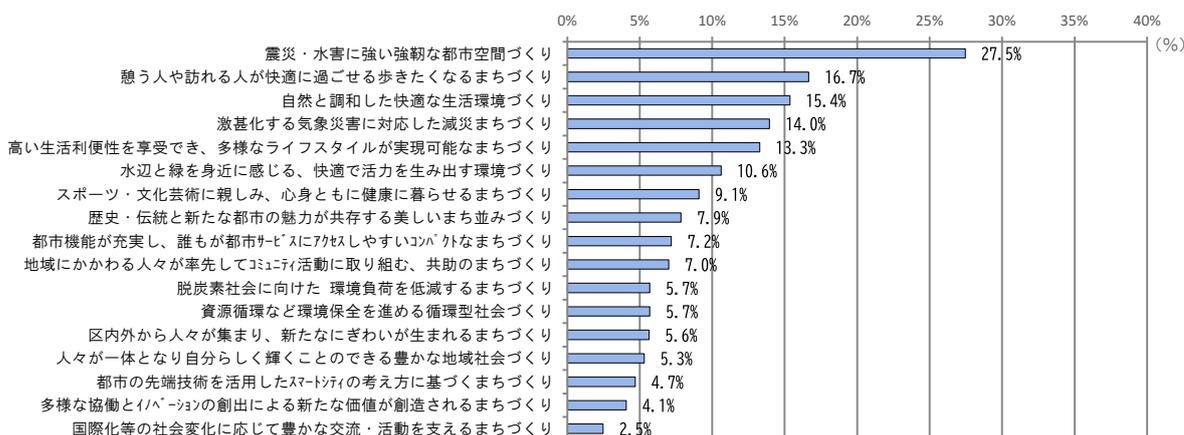
## 各駅周辺（割合）

### 東陽町駅周辺



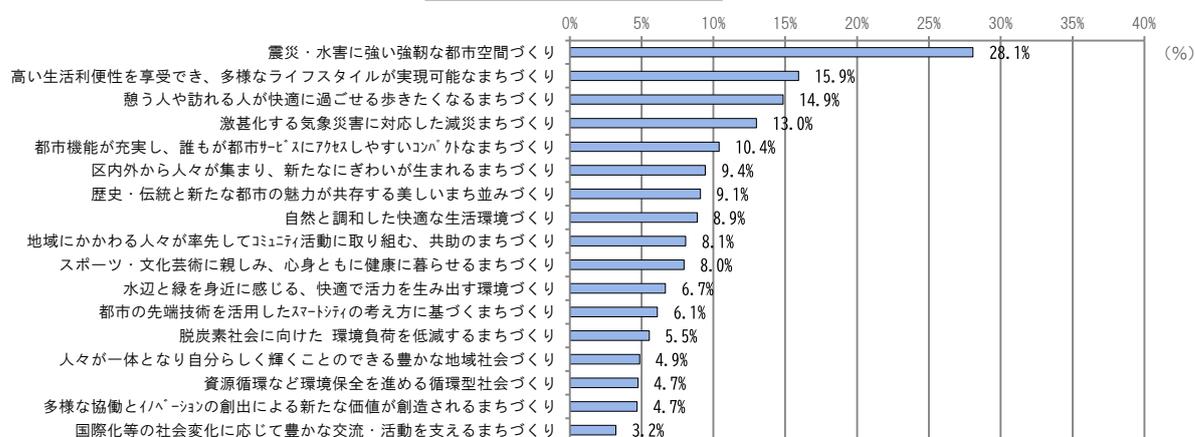
n=1,770

### (仮称)千石駅周辺



n=1,770

### 住吉駅周辺



\*無回答は省略して記載

n=1,770

## 6) 地下鉄8号線（有楽町線）延伸に伴う効果・影響を最大限活かすため、まちづくりにおいて検討すべき事項、取り組むべき事項等（自由回答）

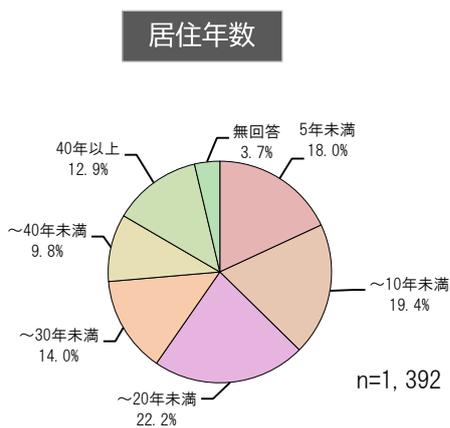
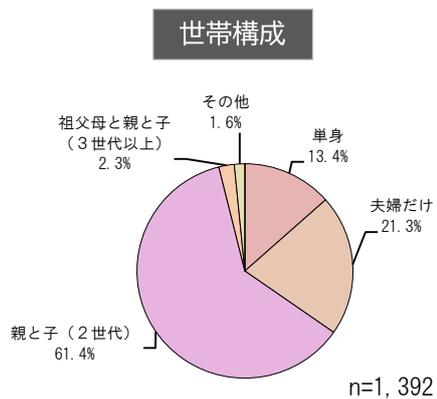
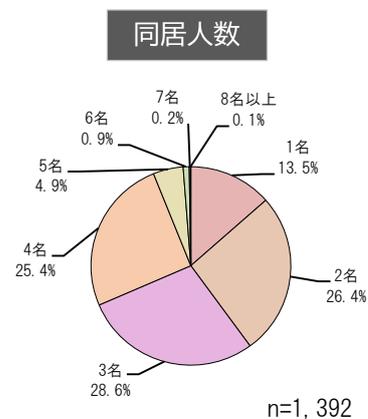
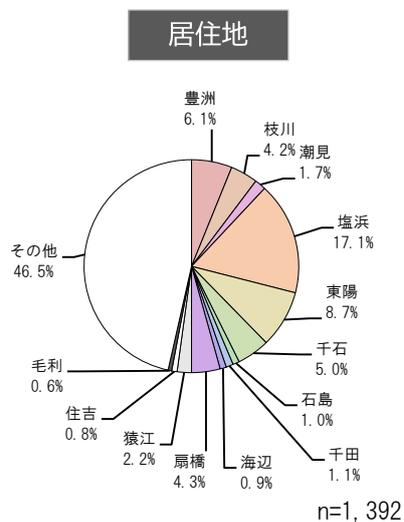
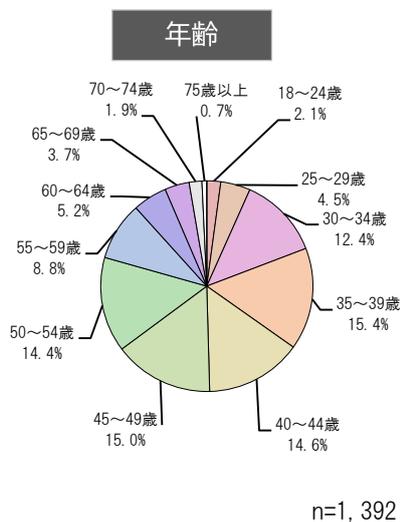
- 「バス」に関する意見が最も多く、「道路整備」、「駐輪場」といった交通に関する回答が多くみられた。

意見区分	件数
バスについて	33
道路整備について	30
商業施設について	28
飲食店について	26
駐輪場について	22
混雑について	18
駅周辺の開発について	17
駅の出入口について	17
公園について	16
自転車レーンについて	15
災害（水害）について	14
地域の特徴について	13
治安について	13
高齢者について	13
自転車について	13
まちづくりに期待について	12
災害について	12
バリアフリー化について	12
子どもについて	12
防犯について	12

\*上位の意見のみ記載

### ③ 集計結果（Webアンケート区内回答）

#### 1) 回答者の属性（単数回答）



## 2) 沿線のまちづくりにおいて活かすべき魅力等と解決すべき課題等（自由回答）

- 紙面アンケートと同様に「公園」や「水辺」を魅力とする回答が多かった。
- 紙面アンケートと同様に「バスに関して」や「混雑」、「道路整備」といった交通を課題とする回答が多かった。

### 活かすべき魅力等

意見区分	件数
公園	87
水辺	45
飲食店	42
まちづくりに期待	36
商業施設	35
駅周辺の開発	31
緑	29
商店街	27
文化施設	25
下町	24
散歩	24
運河	23
魅力を感じない	20
新駅の位置	20
利便性	19
早期開業	19
スーパーマーケット	17
景観	17
憩いの場	16
バスに関して	15

### 解決すべき課題等

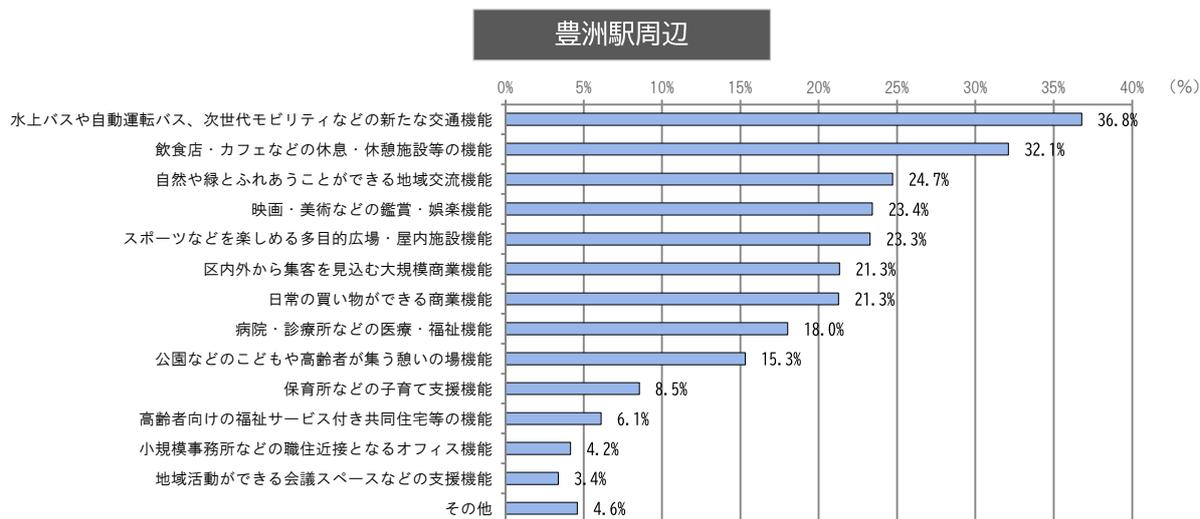
意見区分	件数
バスに関して	53
混雑	50
道路整備	43
駐輪場	42
飲食店	36
商業施設	30
エレベーター・エスカレーター	25
道幅が狭い	24
駅の出入口	23
駅周辺の開発	22
商店街	22
魅力を感じない	18
災害（水害）	17
スーパーマーケット	17
バリアフリー化	16
子育て	15
高齢者	15
JR京葉線と接続	14
駅の整備	14
新駅の位置	13

\*上位の意見のみ記載

### 3) 地域の拠点としてあるとよいと思う新たな機能（複数回答）

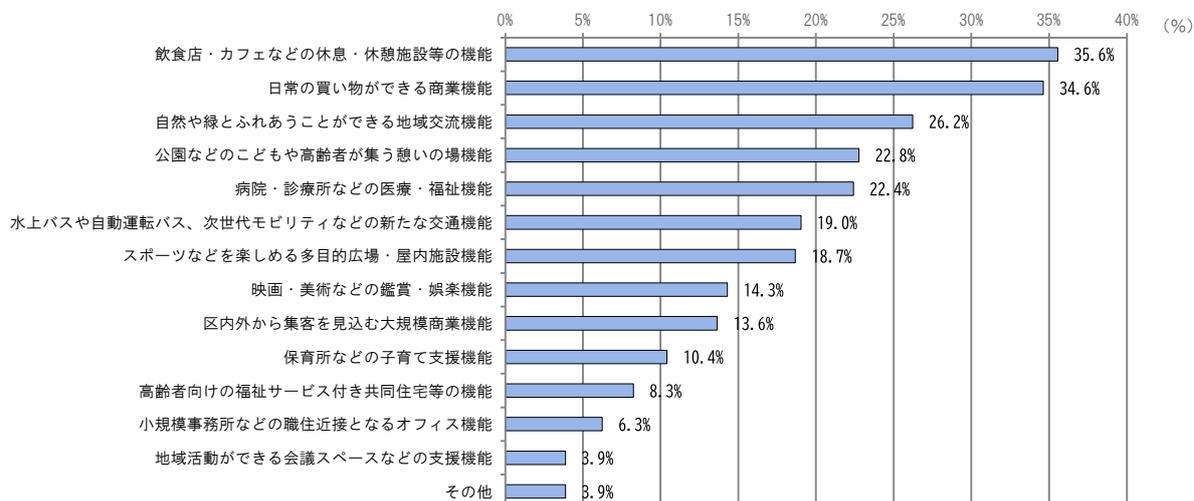
●紙面アンケートと同様、Webアンケートにおいても、豊洲駅周辺では「水上バスや自動運転バス、次世代モビリティなどの新たな交通機能」、その他の駅周辺では「飲食店・カフェなどの休息・休憩施設等の機能」の回答が最も多かった。

各駅周辺（割合）



n=1,392

(仮称) 枝川駅周辺

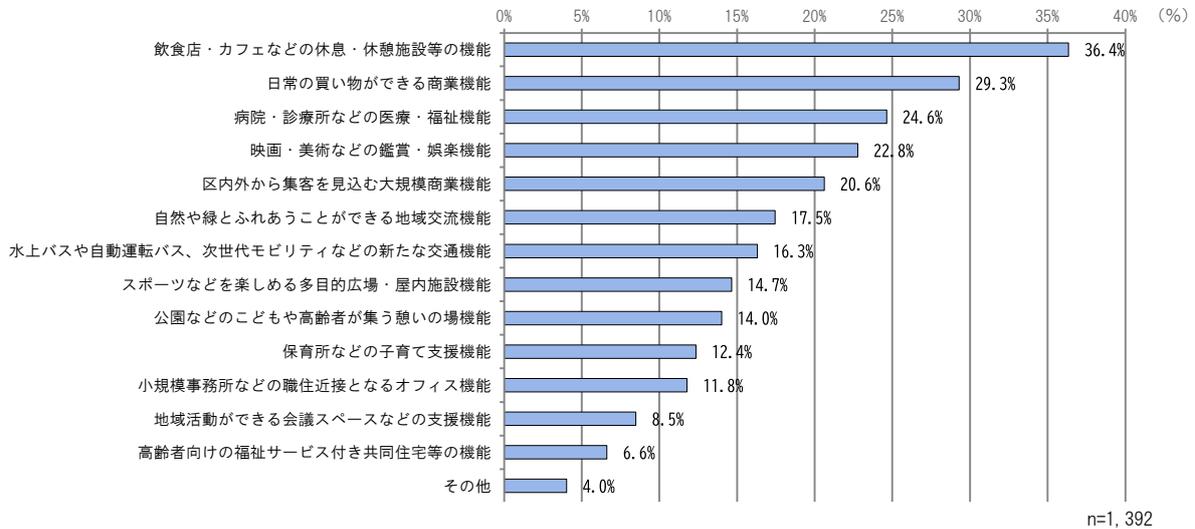


n=1,392

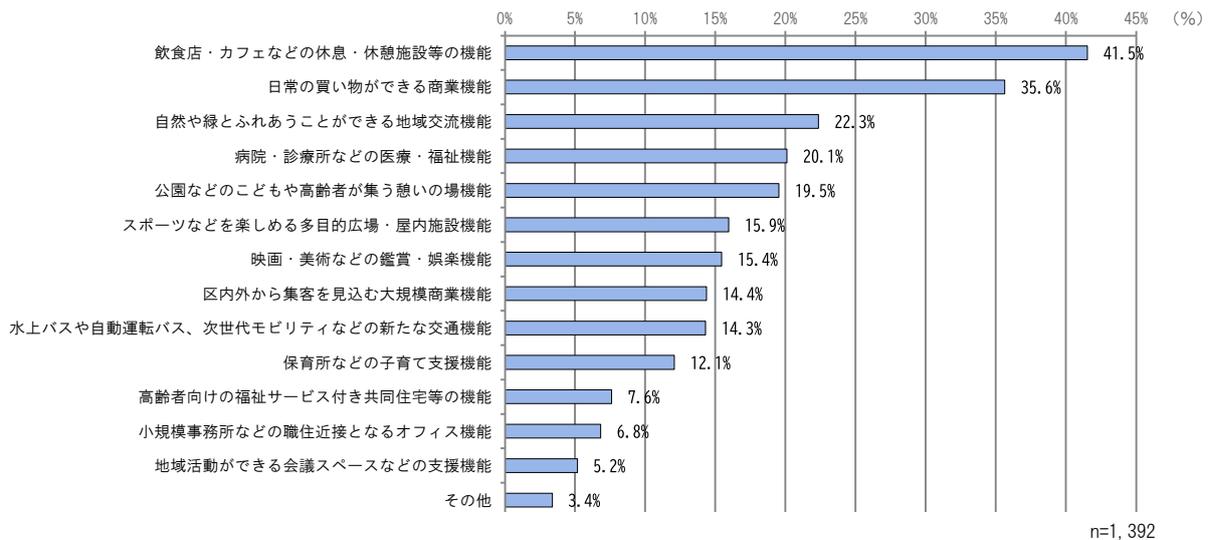
\*無回答は省略して記載

各駅周辺（割合）

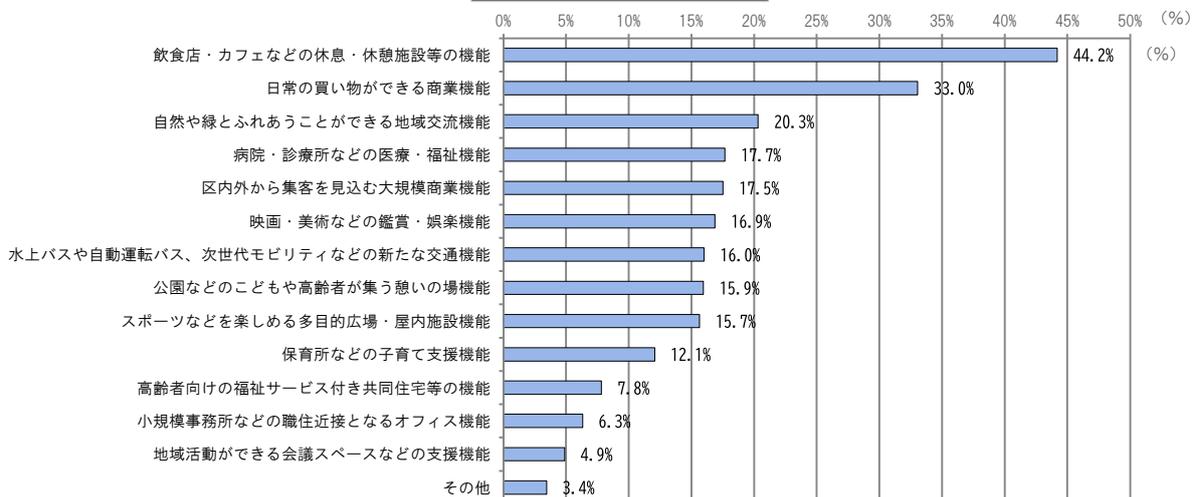
東陽町駅周辺



(仮称) 千石駅周辺



住吉駅周辺



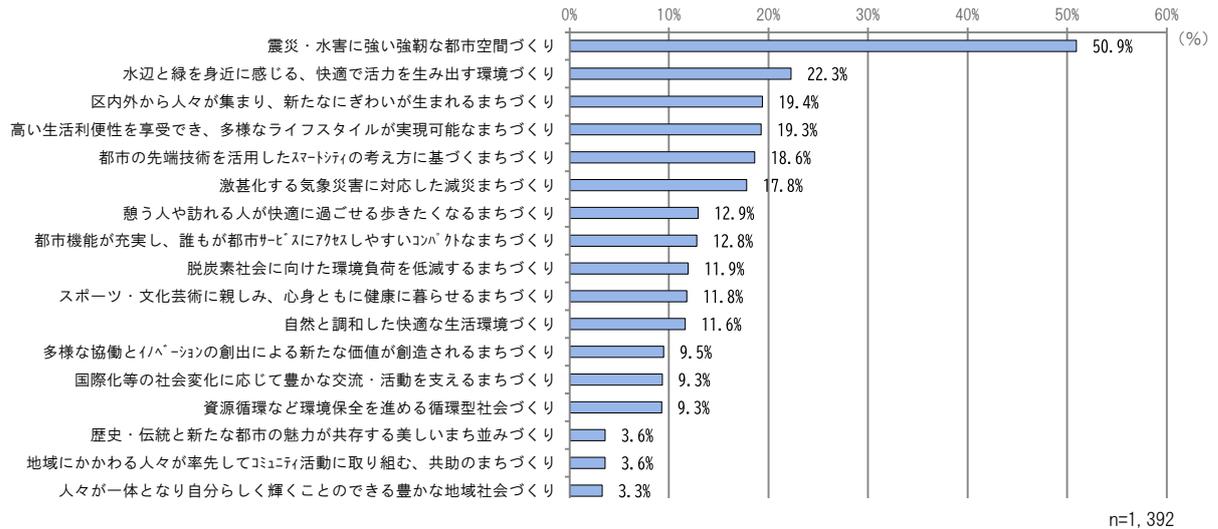
\*無回答は省略して記載

#### 4) 地下鉄8号線の延伸に伴う駅周辺のまちづくりで特に重要と考える取組（複数回答）

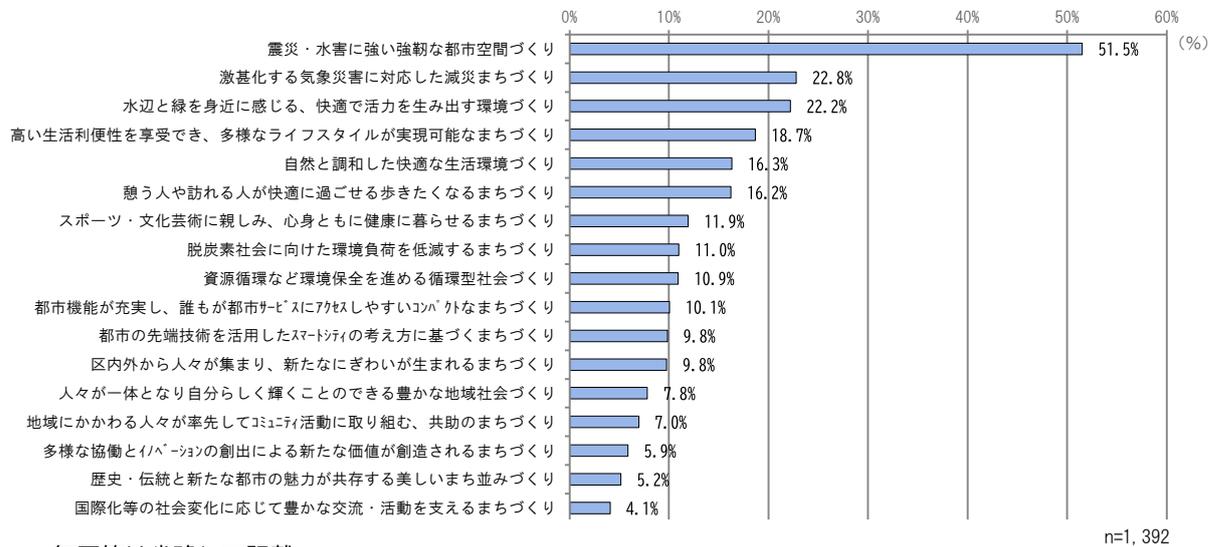
●紙面アンケートと同様、Webアンケートにおいても、すべての駅周辺で「震災・水害に強い強靱な都市空間づくり」の回答が最も多かった。

##### 各駅周辺（割合）

##### 豊洲駅周辺



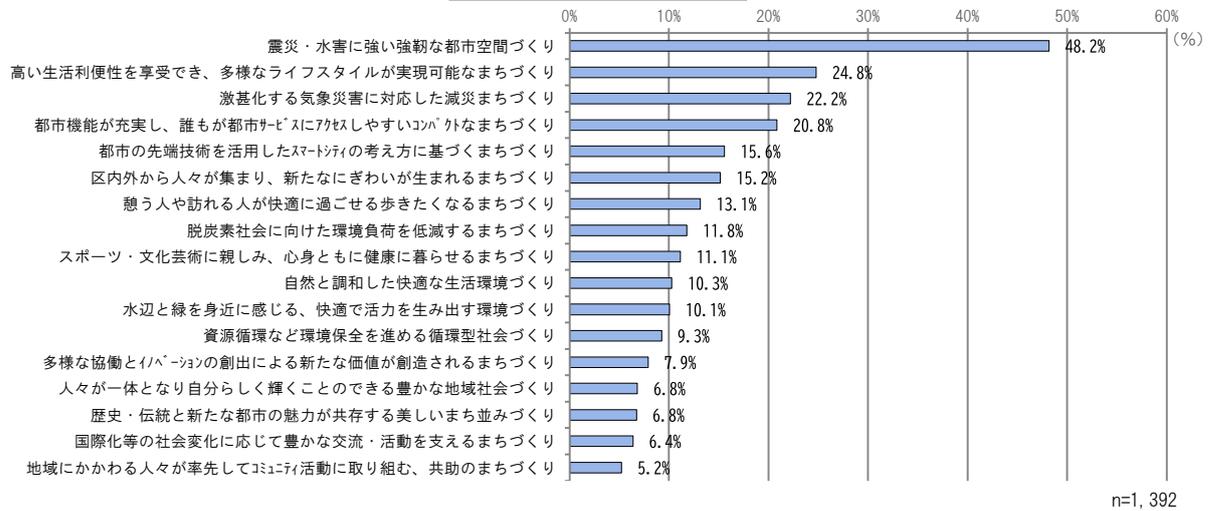
##### (仮称) 枝川駅周辺



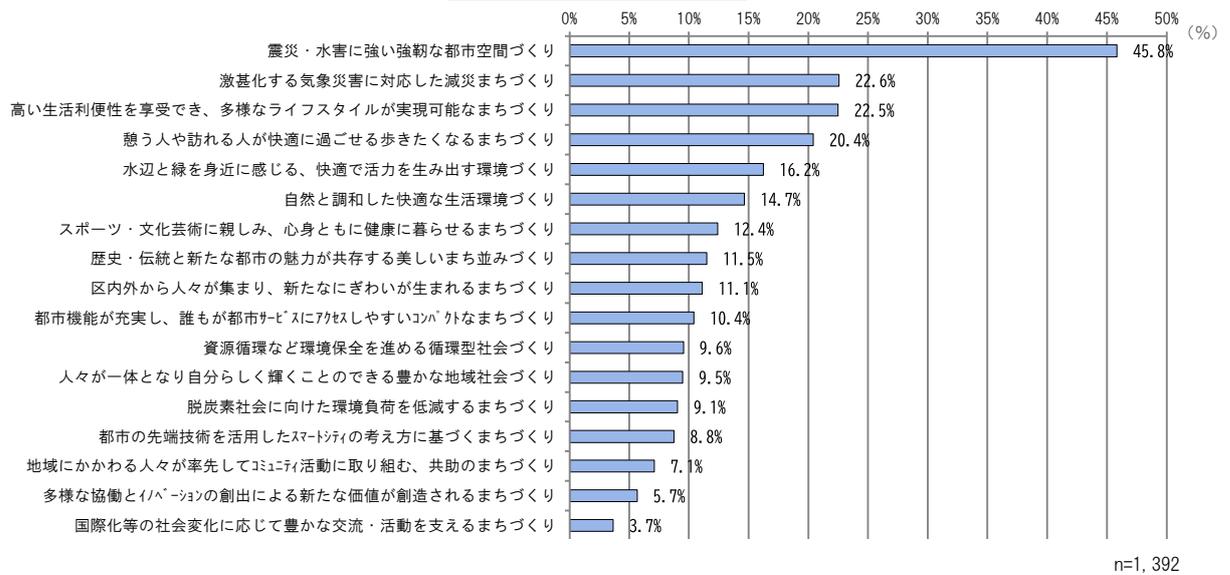
\*無回答は省略して記載

各駅周辺（割合）

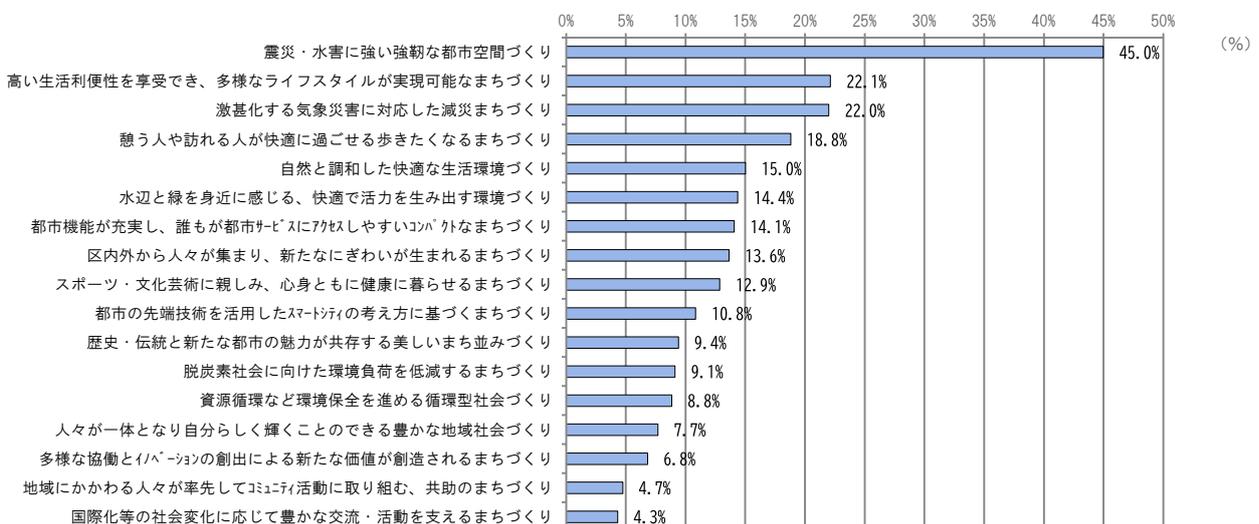
東陽町駅周辺



(仮称)千石駅周辺



住吉駅周辺



\*無回答は省略して記載

5) 地下鉄8号線(有楽町線)延伸に伴う効果・影響を最大限活かすため、まちづくりに  
おいて検討すべき事項、取り組むべき事項等(自由回答)

- 紙面アンケートでは「バス」に関する意見が最も多く、「道路整備」、「駐輪場」といっ  
た交通に関する回答が多かったが、Webアンケートでは「商業施設」に関する意見が  
最も多い回答であった。

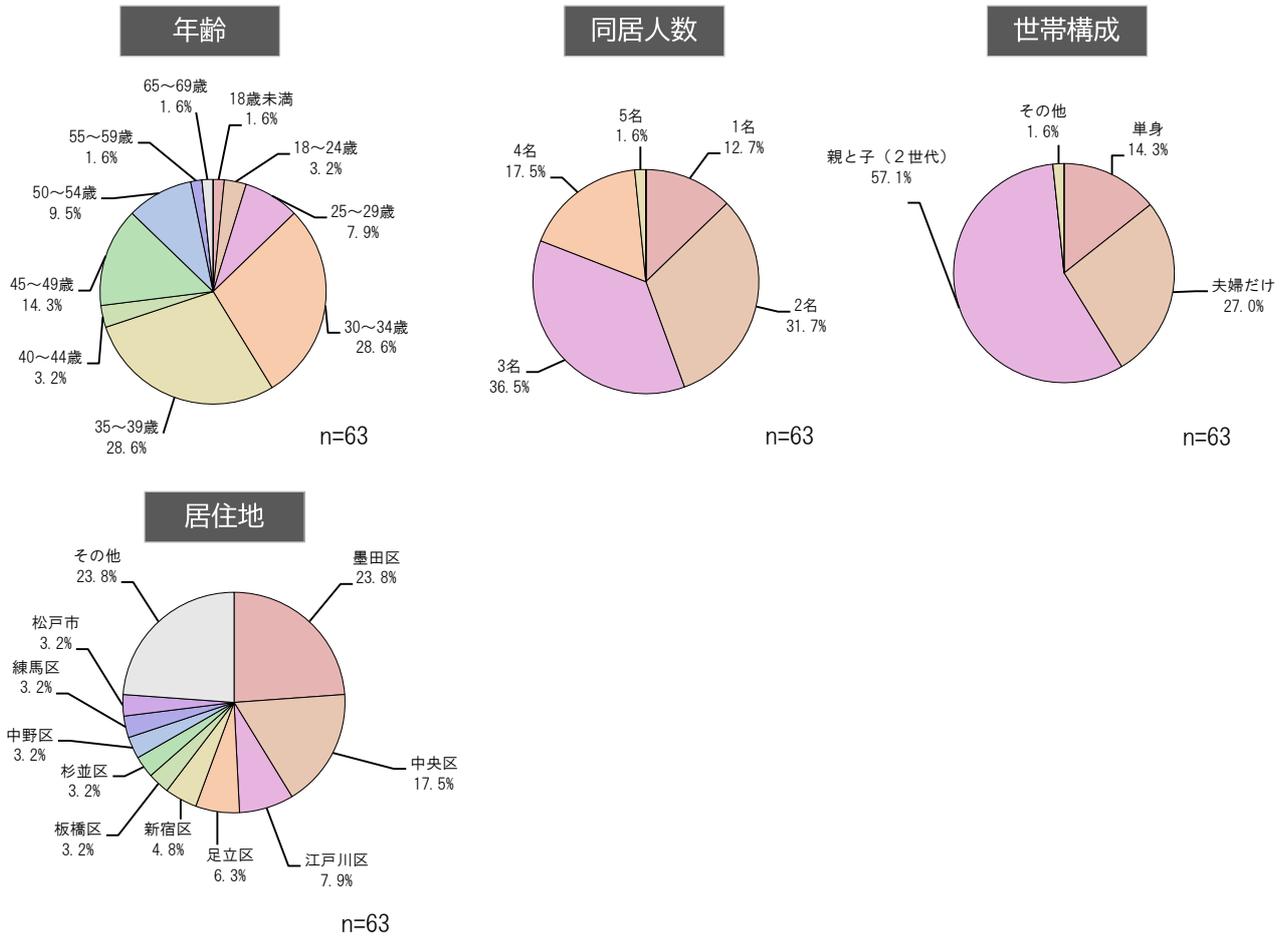
意見区分	件数
商業施設について	47
バスについて	32
道路整備について	31
駅周辺の開発について	27
災害について	20
バリアフリー化について	20
地域の特徴について	15
利便性について	15
災害(水害)について	15
駐輪場について	14
飲食店について	14
混雑について	13
子育てについて	12
駅の出入口について	12
マンションについて	10
公園について	10
下町について	9
景観について	9
高齢者について	9
水辺について	9

\*上位の意見のみ記載

## ① 集計結果（Webアンケート区外回答）

### 1) 回答者の属性（単数回答）

●居住地は「墨田区」が最も多く、次いで「中央区」、「江戸川区」となっている。



## 2) 沿線のまちづくりにおいて活かすべき魅力等と解決すべき課題等（自由回答）

- 区外居住者のアンケート回答においても、「公園」を魅力とする回答が多かった。
- 区外居住者のアンケート回答においても、「自転車レーン」や「道路整備」などの交通を課題とする回答が挙げられた。

### 活かすべき魅力等

意見区分	件数
公園	12
商業施設	4
散歩	4
駅周辺の開発	4
スーパーマーケット	3
水辺	2
マンション	2
緑	2
飲食店	2
子育て	1
レジャー施設	1
アクセスが悪い	1
新駅の名前	1
下町	1
江戸文化と現代の融合	1
自然	1
災害	1
自転車レーン	1
保育園	1
憩いの場	1
魅力の発信	1
魅力を感じない	1
地域間の交流	1

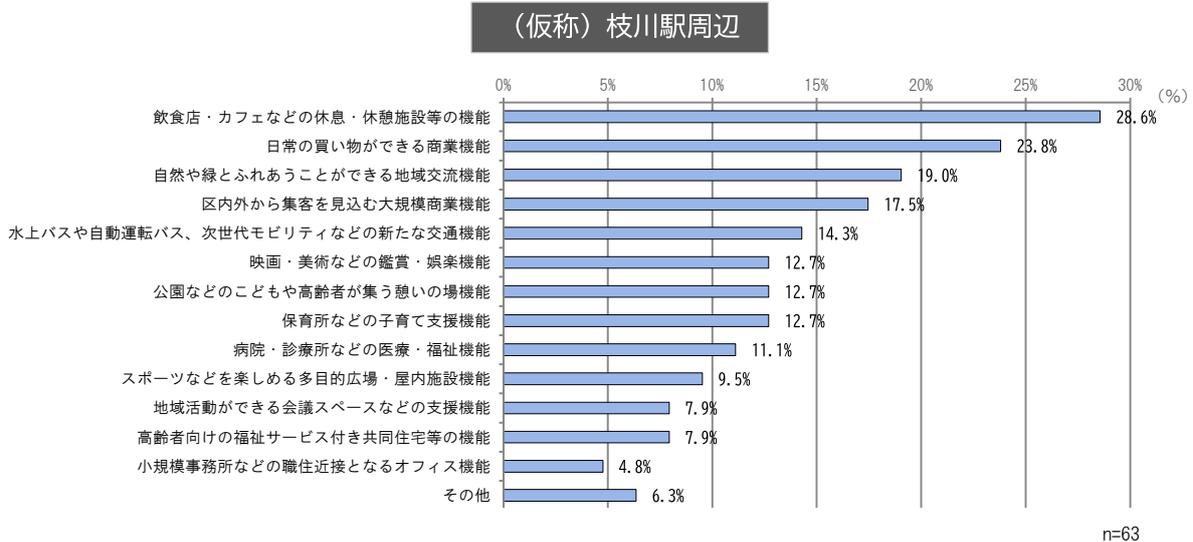
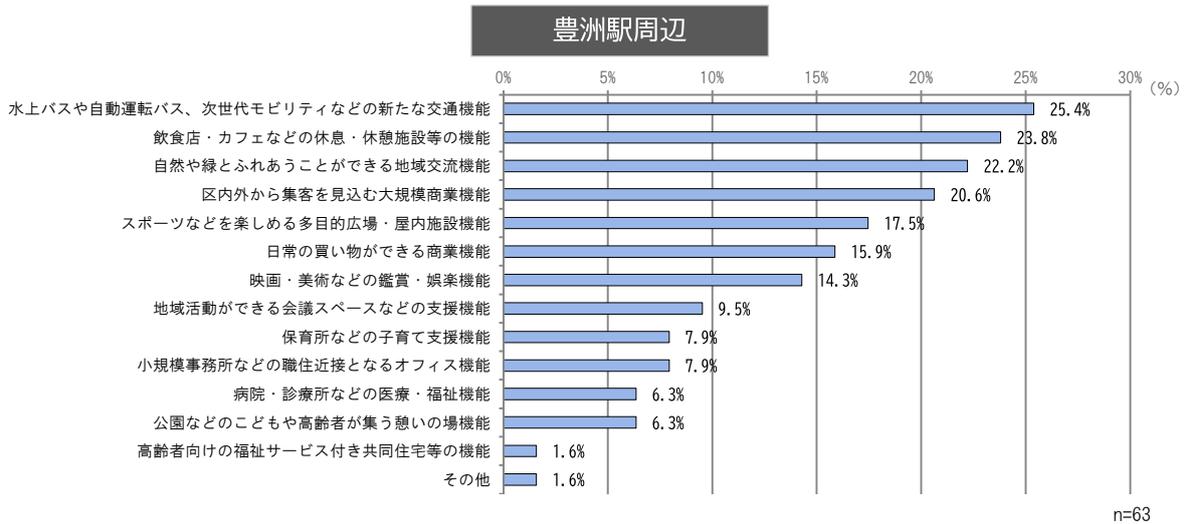
### 解決すべき課題等

意見区分	件数
自転車レーン	4
バリアフリー化	3
公園	3
下町	2
道路整備	2
延伸	2
乗り換え	2
スーパーマーケット	2
飲食店	2
保育園	2
子育て	2
混雑	2
商業施設	1
案内板	1
環境配慮	1
団地	1
費用	1
古い建物	1
自転車	1
早期開業	1
土地が少ない	1
エレベーター・エスカレーター	1
賑わい	1
高齢者	1
駐輪場	1
アクセスが悪い	1
バス	1
駅周辺の開発	1
魅力を感じない	1
施設	1

### 3) 地域の拠点としてあるとよいと思う新たな機能（複数回答）

● 区外居住者のアンケート回答においても、豊洲駅周辺では「水上バスや自動運転バス、次世代モビリティなどの新たな交通機能」、その他の駅周辺では「飲食店・カフェなどの休息・休憩施設等の機能」の回答が最も多かった。

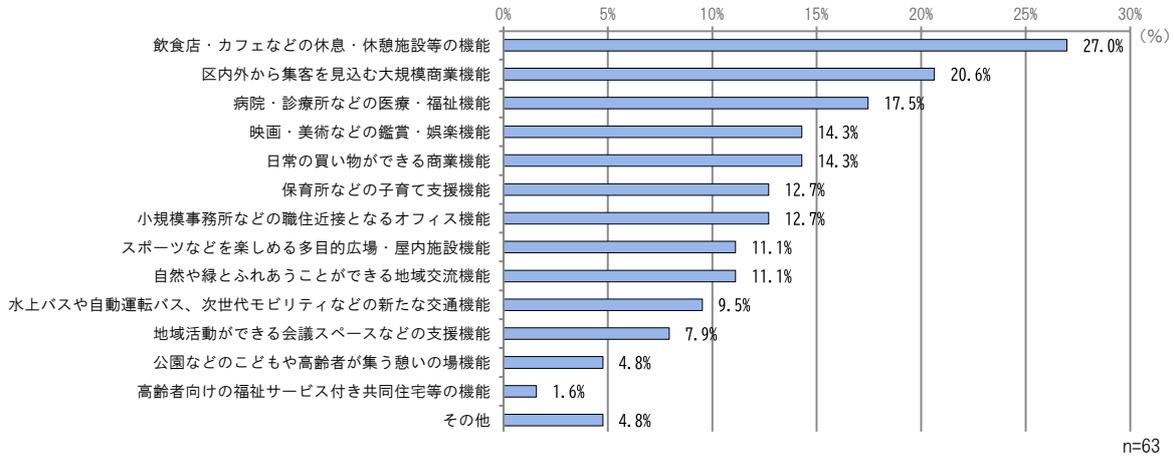
各駅周辺（割合）



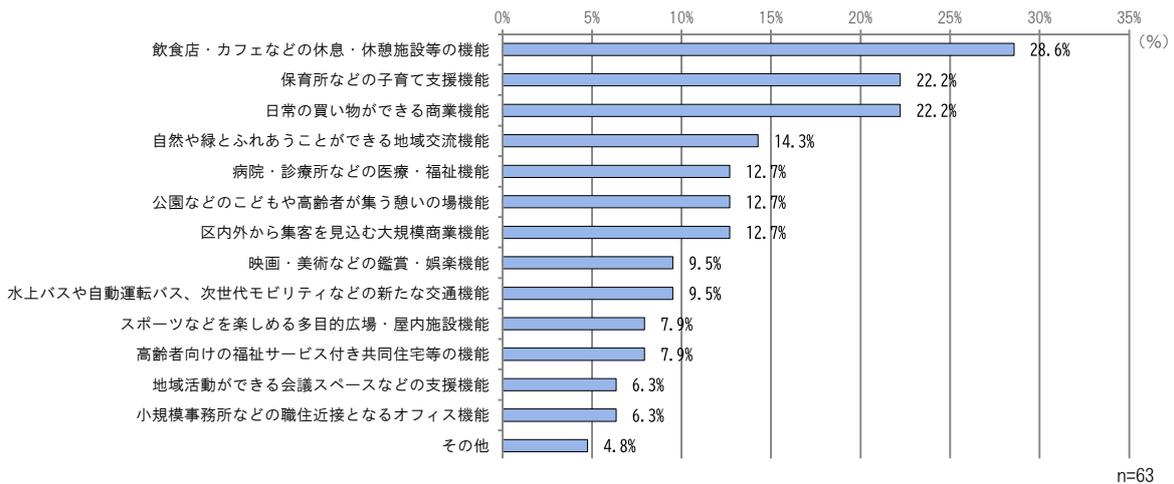
\* 無回答は省略して記載

## 各駅周辺（割合）

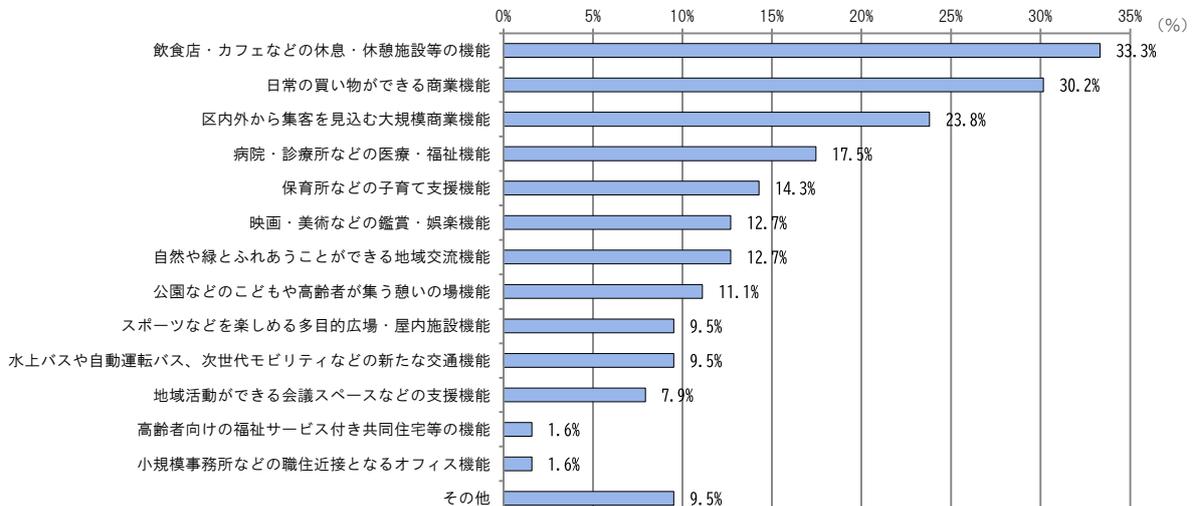
### 東陽町駅周辺



### (仮称) 千石駅周辺



### 住吉駅周辺



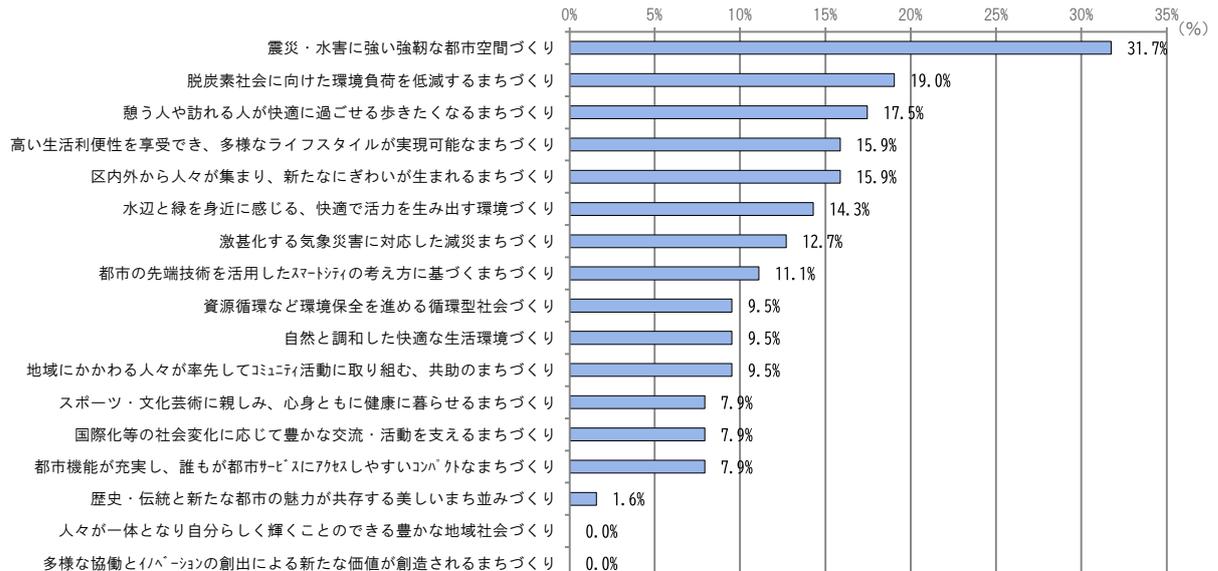
\*無回答は省略して記載

4) 地下鉄8号線の延伸に伴う駅周辺のまちづくりで特に重要と考える取組（複数回答）

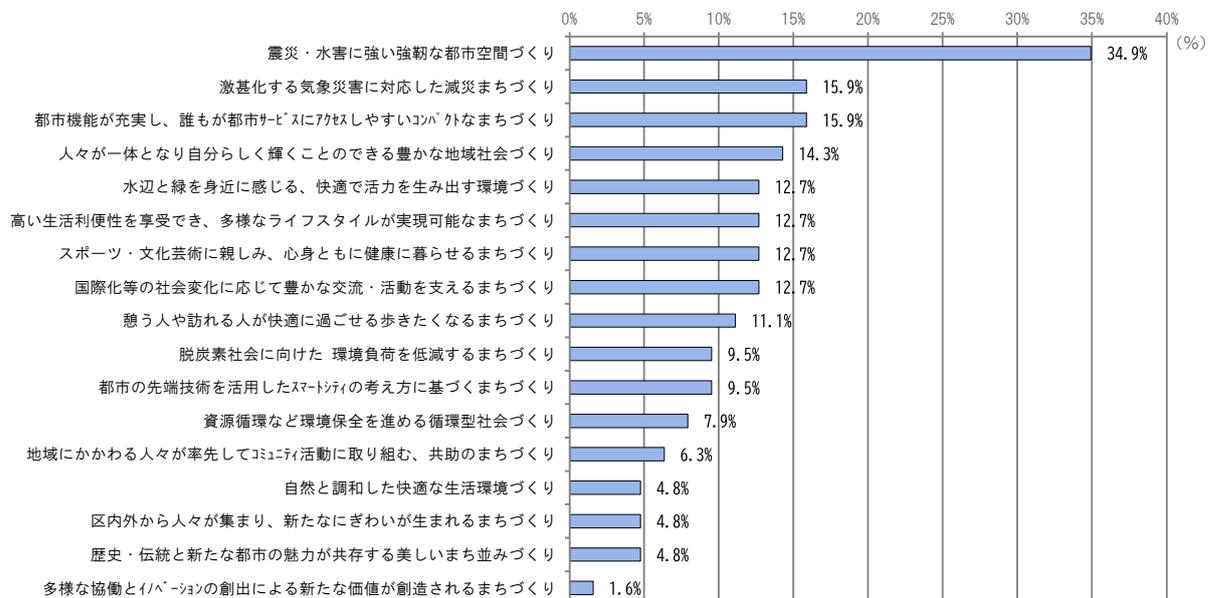
●区外居住者のアンケート回答においても、すべての駅周辺で「震災・水害に強い強靱な都市空間づくり」の回答が最も多かった。

各駅周辺（割合）

豊洲駅周辺



(仮称) 枝川駅周辺

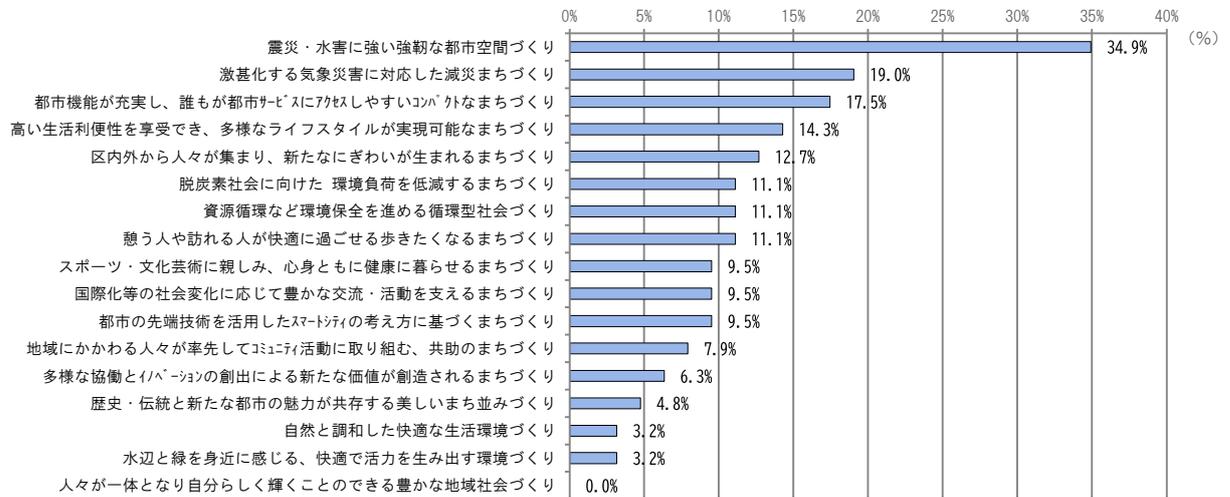


\*無回答は省略して記載

n=63

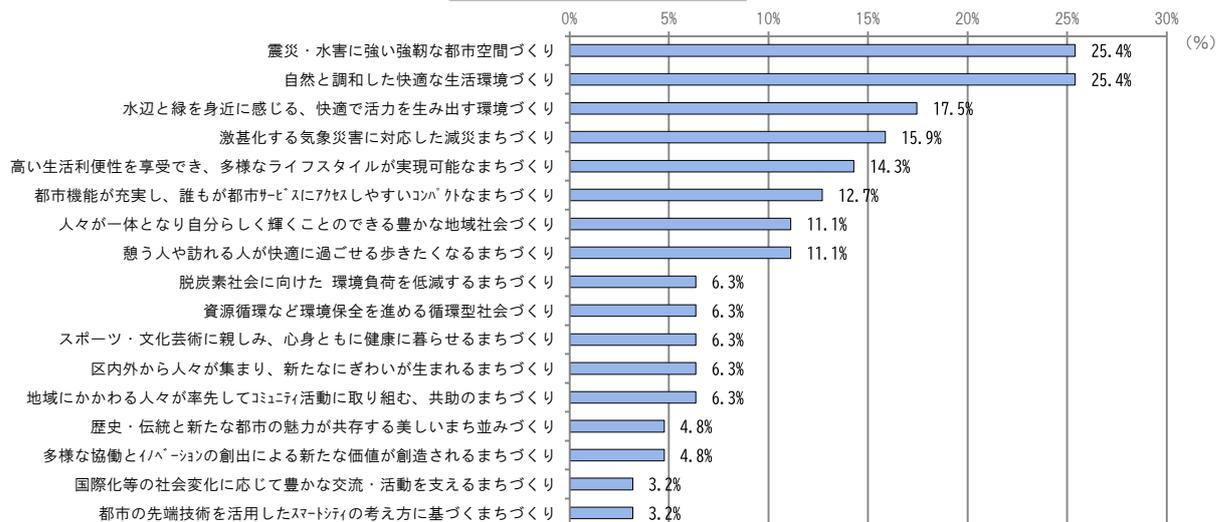
## 各駅周辺（割合）

### 東陽町駅周辺



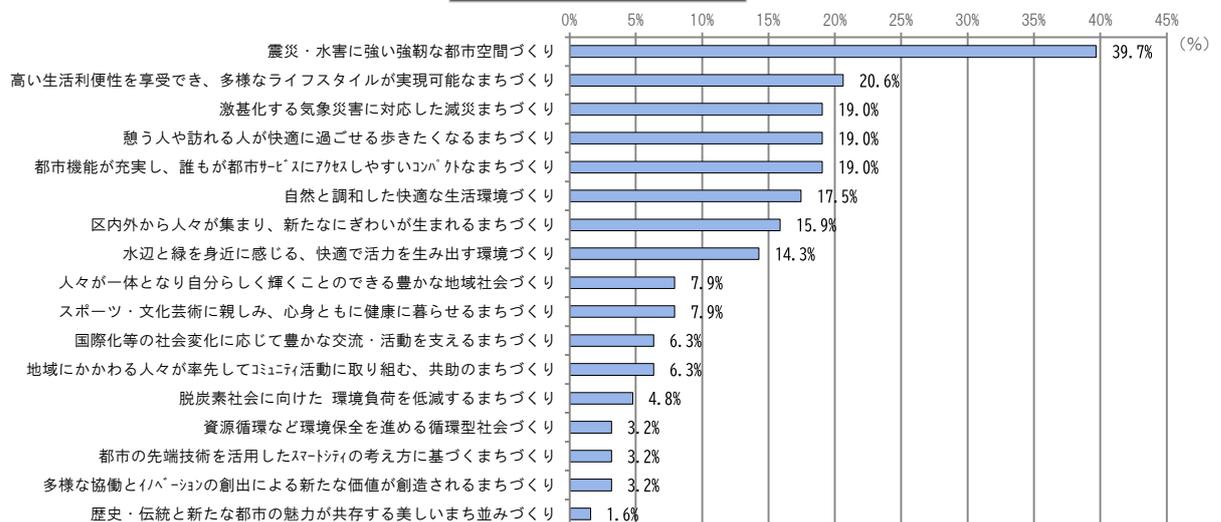
n=63

### (仮称) 千石駅周辺



n=63

### 住吉駅周辺



n=63

\*無回答は省略して記載

## (2) ワークショップ

### ① 委員の構成

- 原則として各駅周辺を構成する13町を軸とし、公募を中心に選出された各駅10名（うち、各駅1名は芝浦工業大学の学生）

### ② 実施概要

第1回	日時	令和4年7月23日（土）	場所	豊洲IHIビル
	出席者	ワークショップ委員50人（対面22人 オンライン15人 書面13人） 芝浦工業大学 志村教授 桑田教授 佐藤教授		
	テーマ	『まちづくりに期待することや想い』 『各駅周辺のまちの魅力や課題』		
第2回	日時	令和4年8月27日（土）	場所	東川小学校
	出席者	ワークショップ委員50人（対面34人 オンライン11人 書面5人） 芝浦工業大学 志村教授 桑田教授 佐藤教授		
	テーマ	『地下鉄延伸後のまちづくりにおいて重要なテーマ』 『各駅周辺で目指す姿』		
第3回	日時	令和4年9月10日（土）	場所	ホテルイースト21東京
	出席者	ワークショップ委員50人（対面39人 オンライン6人 書面5人） 芝浦工業大学 志村教授 桑田教授 佐藤教授		
	テーマ	『各駅周辺で目指す姿実現に向けた取り組み』 『各駅周辺の目指す姿から考える沿線全体で目指す姿』		



# 1) 第1回ワークショップにおける主な意見

## 豊洲駅周辺

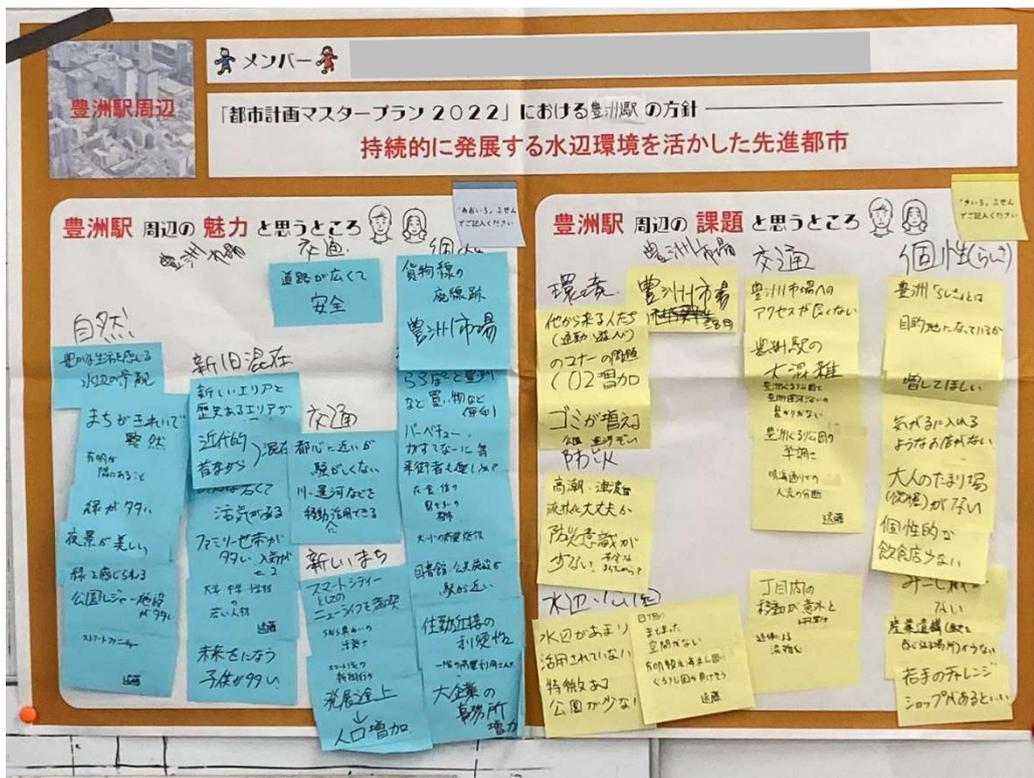
### ■グループワークでの意見のまとめ

- ・ファミリー層が多く、新しいまちであり、水辺や大きな公園、店舗が充実し、都心アクセスも良いことが魅力として挙げられたが、来街者のマナーの悪さ、水辺・公園、豊洲市場の魅力が活かしきれず地域内交通の不便さが課題として挙げられた。



### ■グループワークでの個別の意見（魅力と課題）

- ・豊洲駅の魅力として、まちが新しく綺麗でファミリー世帯や若い人が多く活気のあるところ、公園、緑の多さ、水辺が近いこと、夜景等の自然を感じることができること、都心へのアクセスの良さ、店舗、公共施設等が充実していることが挙げられた。
- ・課題として、店舗は充実しているがチェーン店が多く気軽に入れる飲食店や個性豊かな店舗がないこと、魅力である公園、水辺、ここにしかない豊洲市場が活かされていないこと、水辺の近さから防災面への不安、地域内の交通が不便であることが挙げられた。
- ・その他、来街者のマナーの悪さ、無機質なまちになりつつあり「オンリーワンなまちづくり」が必要であること、女性でも入りやすいこじやれた個性豊かな店舗、貨物線の廃線跡等の産業遺構の活用が必要であること等の意見が挙げられた。



(仮称) 枝川駅周辺

(※ワークショップ開催時点では新駅①)

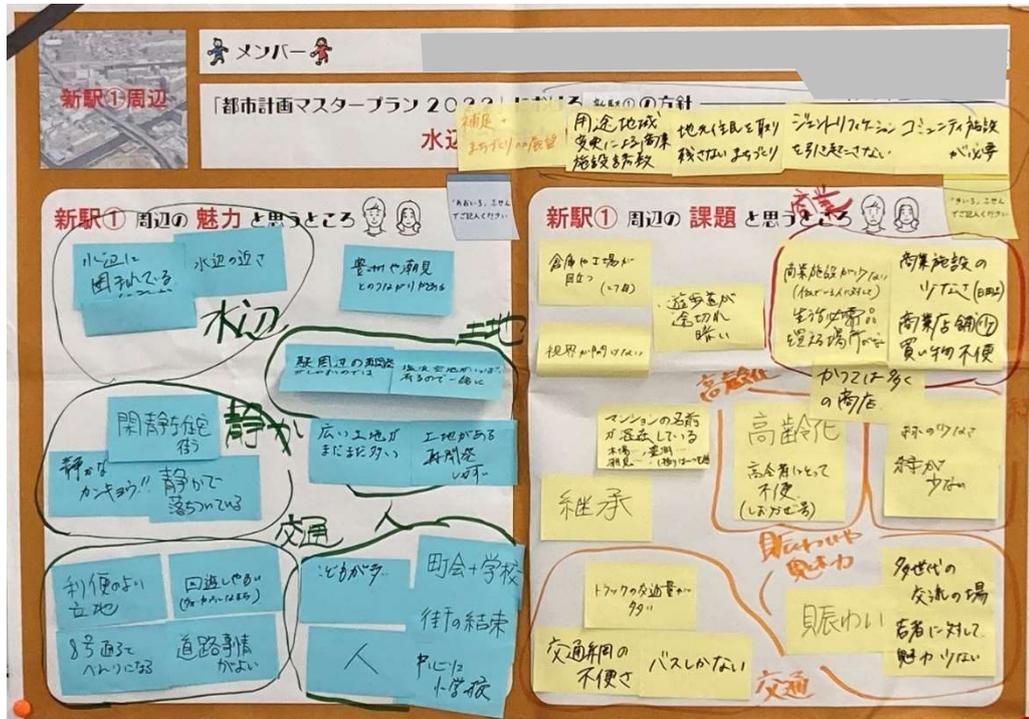
■グループワークでの意見のまとめ

- ・ 水辺に近い静かな住環境で空地があり、今後の開発に期待が持てること、住んでいる人そのものが魅力として挙げられた一方で、交通利便性の低さや商業施設の少なさなど、魅力の裏返しとなる課題が挙げられた。



■グループワークでの個別の意見（魅力と課題）

- ・ 新駅①の魅力として運河に囲まれた水辺の近さ、道路事情が良く交通利便性が高い一方で、閑静な住宅街として成立しているところ、中心にある小学校や町会等、人と人との結束の強さ、今後の開発に期待を持つことができるまとまった土地が多いといった意見が挙げられた。
- ・ 課題としては商業施設の少なさや減ってきていること、交通利便性は高い反面、バス、トラックの交通量の多さから不便さを感じていること、高齢化の進展と若い人が魅力を感じる場所がなく世代間の交流がなく賑わいが不足していることが挙げられた。
- ・ その他、豊洲に隣接している立地から原宿に対しての裏原宿のようなポジションや潮見と一体的に検討していくことが必要という意見やエリアブランディング※を明確にすることの必要性や舟運を活用した取組みが必要との意見が挙げられた。



## 東陽町駅周辺

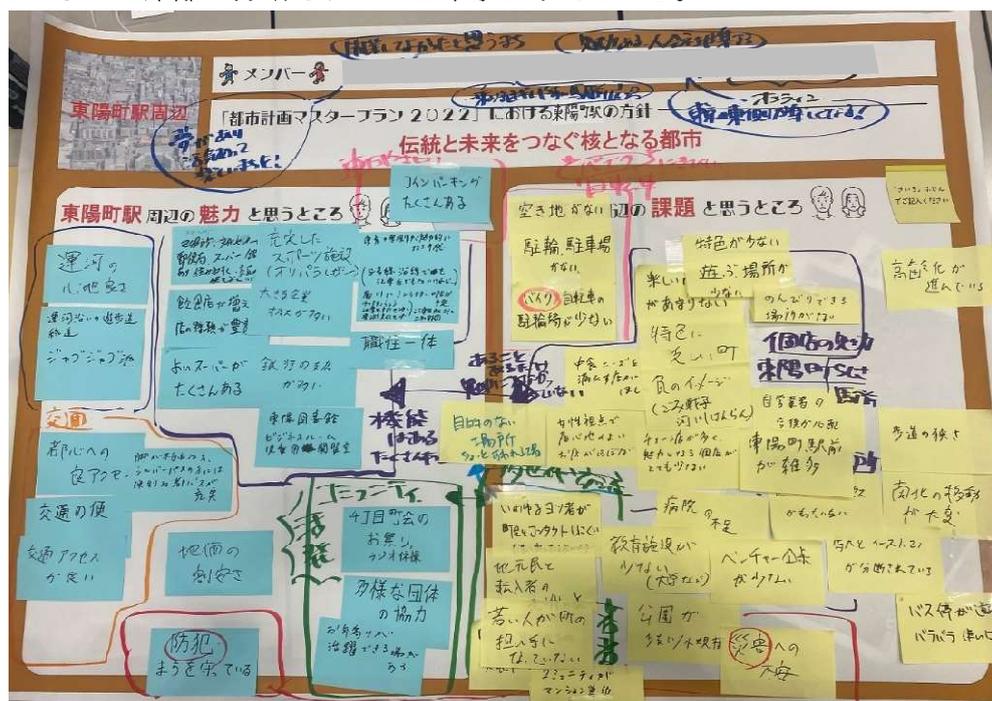
### ■グループワークでの意見のまとめ

・都心へのアクセスの良さ、様々な施設・機能（公共施設、スーパー、郵便局、等）が充実し、コミュニティが活発なところが魅力として挙げられたが、区内の南北方向への移動、特色の乏しさ、コミュニティへの入りづらさ等が課題として挙げられた。



### ■グループワークでの個別の意見（魅力と課題）

- ・複数の町会や商店会がありそれぞれが協力しあうことができるコミュニティが活発であること、都心への交通アクセスの良さの他、身体の不自由な方、高齢者の方の移動に際して路線バス網が充実していること、図書館等の公共施設の充実やスーパー、銀行等の施設が充実していることが魅力であるとの意見が挙げられていた。
- ・課題としてはエリアブランディングが欠如しており、特色のなさチェーン店の多さに個店（個人が営むお店）の魅力が埋もれてしまっており、東陽町らしさがなく磨けば光る魅力を活かしきれていないこと、駐車場、駐輪場の少なさ、バス停がまとまっておらず使いにくさがある等の意見が挙げられた。
- ・その他、計画的なまちづくりが進んでおらず駅前が雑多な印象を与えていることや来街者や転入者がコミュニティに参加しづらいことは課題であるが防犯面では心強さを感じていることは魅力として挙げられ、東陽町駅と東京イースト21までの距離が分断されている印象を与えている。



(仮称)千石駅周辺

(※ワークショップ開催時点では新駅②)

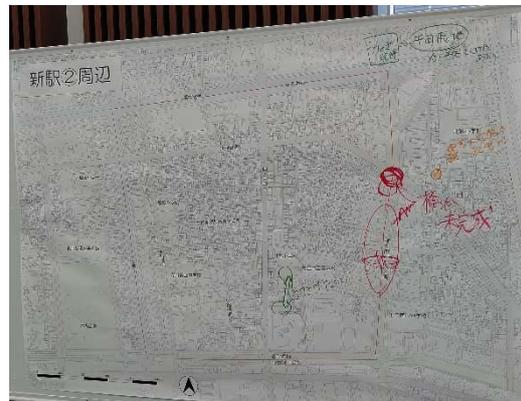
■グループワークでの意見のまとめ

・文教施設、自然に囲まれた住宅街が魅力という意見の他、うなぎの養殖の発祥地や桜の名所、地ビールづくり等の地域資源があるが、それらのPRができていないこと、一息つける場所が少ないこと歩行者の安全確保が課題として挙げられた。



■グループワークでの個別の意見（魅力と課題）

- ・新駅②の魅力としては横十間川親水公園や仙台堀川公園といった水辺や木場公園の緑以外にも桜の名所が多いといった自然環境に関する意見が多く挙げられた。
- ・課題としては災害のリスク、歩道の狭さ、自動車中心となっている道路、信号のない交差点等の交通面の他、ランドマークの欠如や商店街の店舗、個店（個人が営むお店）の魅力にかける等が挙げられた。



- ・その他、歴史を感じる場所が多く、うなぎの養殖の発祥地や地ビール（千田ビール）、宇賀八幡宮大祭等魅力的なものもあるがアピール不足であり知られていないことが課題として挙げられた。また、古くは江戸時代に徳川家の屋敷跡であったことや戦後の帝都復興事業でまちが概成してきた等まちの成り立ちや地域のつながりの強さが魅力との意見も挙げられていた。

## 住吉駅周辺

### ■グループワークでの意見のまとめ

・商店街、公園や水辺が魅力という意見が多く挙げられた。課題としては道路の狭さ、猿江恩賜公園の活用が不十分で公園内での飲食の提供やイベント開催等楽しめる場が少ないとの意見が挙げられた。



### ■グループワークでの個別の意見（魅力と課題）

- ・住吉駅の魅力として猿江公園や水辺、住吉銀座といった地域資源の他にあそか病院やこどもプラザ図書館といった具体的な施設名を挙げられる方も見受けられた。
- ・課題としては道幅の狭さや個店（個人が営むお店）について知る機会がなく、後継者も居ない等の意見が挙げられた他、魅力である猿江公園でのイベント開催がなされていないことが挙げられた。
- ・その他、スカイツリー至近の地域からスカイツリーを望む景観に魅力はあるが活かしきれていないことが課題として挙げられた。また、清澄白河と錦糸町という隣接駅や猿江恩賜公園と木場公園と比較した場合に魅力が劣るといった意見が挙げられた。

住吉駅周辺

「都市計画マスタープラン2022」における住吉駅の方針  
地下鉄8号線延伸による利便性の高い都市

メンバー

#### 住吉駅周辺の魅力と思うところ

- 猿江恩賜公園**
  - 環境：緑の公園とスカイツリー景観
  - その他：遊歩道が整備されている
- 小名木川**
- 住吉銀座商店街**
  - 商店街の歴史と文化
  - 住吉銀座商店街の歴史
- あそか病院**
- こどもプラザ図書館**
  - 児童館
  - こどもプラザ図書館
- 地域資源**
  - 環境：錦糸町、豊洲、日本橋
  - 交通：大塚、110、120、121
  - その他：カニ、花見

#### 住吉駅周辺の課題と思うところ

- 商店街の部会のこと**
  - 個人が営むお店
  - 後継者がいない
- 公園の活用**
  - イベント/公園
  - マリッジ
  - 魅力の引き出し
- 公園の利用**
  - 公園
  - スポーツ/利用
  - 利用する場所(飲食)
- まちの活気**
  - 個人が営むお店
  - 後継者がいない
- 水辺空間の活用**
  - 環境
  - 水辺空間の活用
  - 環境

あそか 青空市

2) 第2回ワークショップにおける主な意見

豊洲駅周辺

■グループワークでの意見のまとめ

テーマ①：地下鉄延伸後のまちづくりにおいて重要なテーマ

- ・水辺空間、豊洲市場、4丁目アパート跡地の活用、「らしさ」として何を打ち出していくか、駅の利便性、住吉以北（押上）との地域間連携、来街者、災害に強い安全・安心というキーワードが挙げられた。
- ・豊洲には神輿はあるが、その伝統が活用されていないとの意見が挙げられた。
- ・水辺空間はあるが照明やベンチ等の周辺環境の整備ができておらず、水辺の活用方策として地域内の東西方向を分断する陸路（晴海通り）を補完する形で舟運の活用という意見が挙げられた。

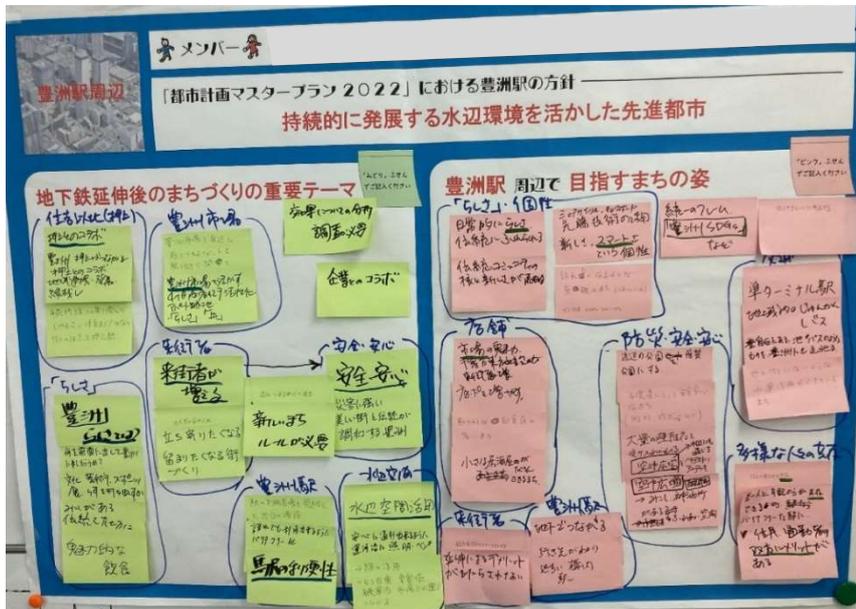


テーマ②：豊洲駅周辺で目指す姿

- ・日常的に「らしさ」に触れることができるまち、地域内の循環バスや舟運によりつながるまち、豊洲市場、魅力的な店舗があるまち、誰もが安全安心に過ごせるまちという意見が挙げられた。
- ・豊洲駅についてもまちなかと地下でつながるまち、豊洲駅が準ターミナル駅として地域内の循環バスや舟運との乗換えが可能となったまちという意見が挙げられた。

■グループワークでの個別の意見

- ・地下鉄延伸の効果について調査、分析を行い具体化につなげることが必要との意見が挙げられた。
- ・新しいまちであることから来街者やまちなかでのスケートボード利用者等によりマナーが守られていないためルールづくりが必要との意見が挙げられた。
- ・現在、豊洲にオフィスを構える企業とのコラボしたまちづくりが必要との意見が挙げられた。
- ・「豊洲版SDGs」等の統一した枠組みのもとで住民がまちづくりに参画し、地下鉄延伸により住民にデメリットがもたらされることがないまちとの意見も挙げられた。



## (仮称) 枝川駅周辺

(※ワークショップ開催時点では新駅①)

### ■グループワークでの意見のまとめ

テーマ①：地下鉄延伸後のまちづくりにおいて重要なテーマ

- ・水辺、交通、交流、利便性、賑わい、まちのイメージカラーといったキーワードが出された。
- ・水辺については、船の定期便が運航できるよう水辺の整備が必要との意見が挙げられた。
- ・交通については、延伸により臨海部へのアクセスが良くなることへの期待、錦糸町や八丁堀のように発展する可能性を秘めたまちとの意見が挙げられた。

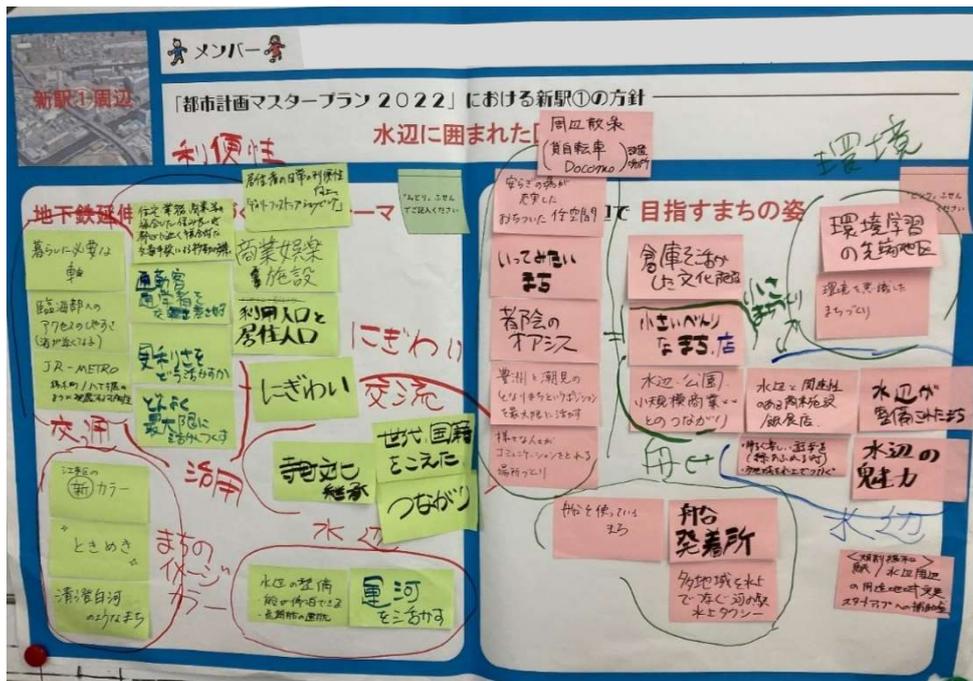


テーマ②：新駅①周辺で目指す姿

- ・水辺が整備され船が水上を行き交い、他の地域とつながりを持ちながら、地域内では小規模な商業施設や飲食店、公園とのつながりがあるまちという意見が挙げられた。
- ・既存の環境学習施設を活かした環境を意識した環境学習の最先端のまちという意見も挙げられた。

### ■グループワークでの個別の意見

- ・まちのイメージカラーとして「ときめき」を感じるような新しい色を出すとの意見も挙げられた。
- ・小さなまち、小さい便利な店舗等「小さい」というキーワードが出され、過度な開発が求められておらず、現状の静かな環境も守っていきたいという意向がうかがえた。
- ・豊洲と潮見の隣町というポテンシャルを活かし、様々な人がコミュニケーションをとることができ、都会のオアシスとしてやすらぎの場が充実し、落ち着いた住空間が広がる、誰もが行ってみたいくなるまちとの意見が挙げられた。



東陽町駅周辺

■グループワークでの意見のまとめ

テーマ①：地下鉄延伸後のまちづくりにおいて重要なテーマ

- ・働く場としてのまちづくり、歩く・つなぐ、みんなが満足するまち、区役所をランドマークに、運河・親水公園の魅力づくりといったキーワードが出された。
- ・道路については歩車分離がなされ、遊歩道の整備とそこに導くサイン計画（道しるべ）が必要との意見も挙げられた。



テーマ②：東陽町駅周辺で目指す姿

- ・タイトルとして、「区役所がランドマークになり、あるく・つなぐ（水・みどり・店舗⇒コミュニティ）まちづくり」という具体的な将来像が挙げられた。

■グループワークでの個別の意見

- ・防災対策を講じること、大きな変化ではなく少しずつ変化していくことを前提として考えていくという意見が挙げられた。
- ・将来像実現のために、自転車と歩行者、車にとって居心地のよい環境となるためのハード整備やルールづくり等、具体策が挙げられた。
- ・ワンルームマンションが多く、ファミリー層が東陽町に住みにくい、多様な人が満足いくライフスタイルが送れる環境づくりをしていきたいとの意見が挙げられた。
- ・その他、ワンルームマンションの規制や容積率緩和によるオフィス誘致という具体策が挙げられた。



## (仮称) 千石駅周辺

(※ワークショップ開催時点では新駅②)

### ■グループワークでの意見のまとめ

#### テーマ①：地下鉄延伸後のまちづくりにおいて重要なテーマ

- ・暮らしやすさ、安全安心、新しいものと古いものの融合（ネオ下町）、自然といったキーワードが出された。
- ・特に四ツ目通りの歩道は幅員が狭く、車中心から人中心にユニバーサルデザインを用いて再整備を行う必要があるとの意見が挙げられた。
- ・震災、戦災を歴史として継承し、新しいものと融合させるという意見が挙げられた。

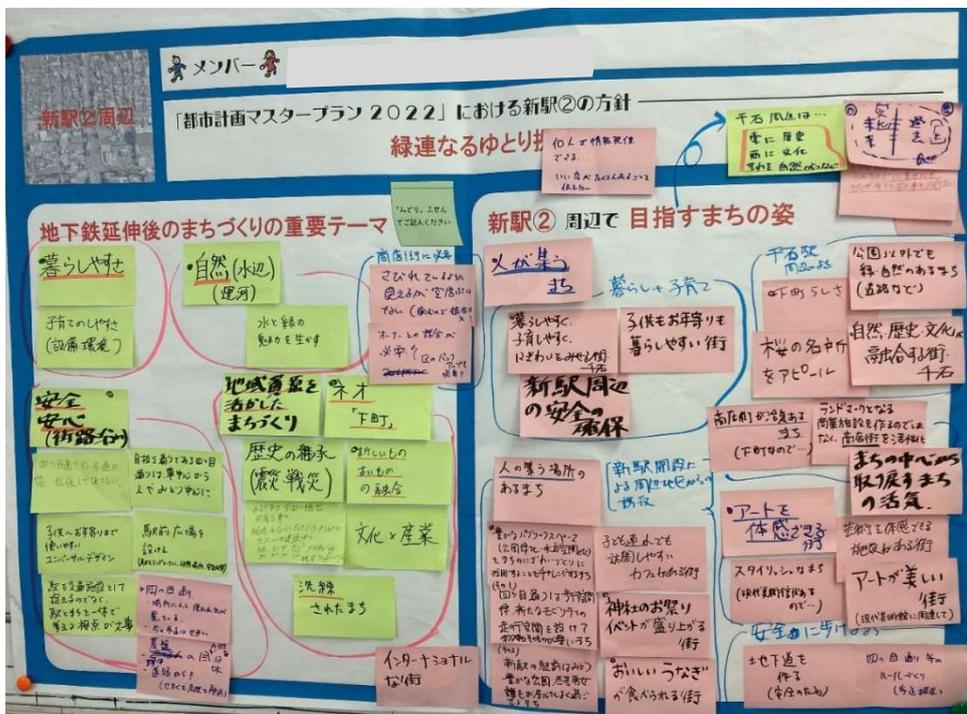


#### テーマ②：新駅②周辺で目指す姿

- ・人が集うまち（暮らす・地区外から訪れる）、こどもからお年寄りまでが暮らせるまち、商店街を中心とした活気のあるまち、自然・歴史・文化が融合するまち、アート・芸術を体感できるまちといった意見が出された。
- ・具体的なアイデアとして、新駅の周辺に憩いの空間を整備し、うなぎをキャラクターとして盛り上げたい、四ツ目通りの歩道拡幅により、歩行者の安全確保を行うという意見が挙げられた。

### ■グループワークでの個別の意見

- ・商店街を活性化するためには、オーナーとの話し合い、行政のバックアップが必要という具体的な実現方策に言及する意見も出された。
- ・新駅を境に西側に文化と未来、東側には歴史と過去という形で対比させ、その相反するものを自然がつなぐといった具体の将来像も意見として挙げられた。



住吉駅周辺

■グループワークでの意見のまとめ

テーマ①：地下鉄延伸後のまちづくりにおいて重要なテーマ

- ・防災、水辺空間、交流、ユニバーサルデザイン、商店街の活性化、暮らし方、利便性というキーワードが出された。
- ・水辺空間については東陽町まで「つなぐ」ことが必要との意見が挙げられた。
- ・商店街は現状の魅力を伸ばすこと、新しいものをどう取り入れるかという意見が挙げられた。
- ・道路が狭いため、ユニバーサルデザインによる道路整備と拡幅が必要という意見が挙げられた



テーマ②：住吉駅周辺で目指す姿

- ・横十間川と商店街がつながったまち、公園と川がつながったまち、個々の施設（猿江恩賜公園、商店街、横十間川等）ではなく様々な施設が一体化したまちといった意見が挙げられた。
- ・猿江恩賜公園内へのカフェ等の整備や、横十間川とのつながりを持たせるためには、まずは一か所でも整備が必要との意見が挙げられていた。
- ・全体として「駅、商店街、公園、川がつながり一体となったまち住吉」という像が考えられる。

■グループワークでの個別の意見

- ・住吉駅の地下空間等のスペースを活用し「住吉の魅力」を伝えることが必要との意見もあった。
- ・猿江恩賜公園が都立公園であることから、東京都の職員にオブザーバーとして参加してもらおうべきではないかとの意見が挙げられていた。
- ・目指す姿実現に向けた、具体的な取組みを検討していきたいとの意見が挙がっていた。

